



取扱説明書

フルデジタル留守番電話

リモートホン AT-1000



このたびは、「リモートホン AT-1000」をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保管していただき、必要なときにお役立てください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、下記の株式会社タカコム（以下「当社」といいます）のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関してお客様（個人、法人を問いません）と当社との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアをインストールまたは使用することにより、お客様は本契約書の条項に同意し、使用許諾契約が成立したものと見なします。

本ソフトウェアの名称：AT-1000 データ入力ソフト

ライセンス数：5

使用許諾の範囲

お客様は、本ソフトウェアを上記のライセンス数までのコンピュータにインストールして使用することができます。

禁止事項

お客様は本ソフトウェアを譲渡、販売、貸し出しをすることはできません。また、本ソフトウェアの「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

保証

本ソフトウェアに、当社の責に帰すべき物理的な欠陥、たとえば DVD の破損・マニュアルの落丁など、があった場合、本ソフトウェアを受領した日から30日以内にかぎり、お客様は当社に交換を要求することができます。

上記の場合、お客様が本ソフトウェアの領収書または購入を証するものとともに、本ソフトウェアを販売店にご返却ください。

免責事項

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接または間接的に生じる損害に対して、当社は一切責任を負いません。

もくじ

安全にお使いいただくために.....	2	データ編	41
お使いになる前に	4	データを登録する前に	42
本体編	9	入力ソフトのインストール	42
各部の名前とはたらき	10	日付・時刻の確認.....	44
各部の名前とはたらき	10	入力ソフトを起動／終了する.....	46
ディスプレイの見方	11	起動のしかた	46
時計を合わせる	12	終了のしかた	47
待機画面とディスプレイ	14	データを作成する	48
待機画面を表示する	14	新規にデータを作成する	48
着信件数の表示のしかた.....	15	SDカードから読み込む	48
着信履歴の表示のしかた.....	16	ファイルから読み込む.....	49
応答メッセージを操作する.....	18	メッセージを編集する	50
応答メッセージを録音する	18	音声合成によるメッセージ変換	51
応答メッセージを再生する	19	メッセージの再生と外部音源からの録音.....	56
応答メッセージを消去する	20	音声ファイルの取込	58
留守セットをする	22	メッセージの削除.....	59
留守セットをする.....	22	スケジュールを編集する	60
留守セットを解除する.....	23	日課パターンを作成する.....	61
用件を再生する	24	年間スケジュールを作成する.....	66
用件を再生する	24	機能設定を登録する	70
用件を消去する	26	データを書き込む	76
リモコン操作をする	28	SDカードに書き込む	76
リモコン再生をする	28	パソコンに保存する	77
その他のリモコン操作.....	30	参考資料	78
タイマーをセットする	34	故障とお考えになる前に	81
タイマーをセットする.....	34	主な仕様	83
タイマーを解除する	34	保証とアフターサービス	裏表紙
機能の登録をする	35		
自動呼出を設定する	36		
電話回線／電源を接続する.....	38		

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。


STOP お願い


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容および使用できない機能などの内容を示しています。


ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。


警告 ご使用にあたって


 本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


 本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。火災・感電・故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社「修理センター」にご依頼ください。


 本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。


警告 電源について

 AC100Vの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、テーブルタップなどを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電・故障の原因になります。


 ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。


 電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。火災・感電の原因になります。



 電源アダプタは大切に扱ってください。コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社「修理センター」にご連絡ください。


 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因になります。







警告 設置場所や環境について 設置にあたって


 本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。




 こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。

-  ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下してけがの原因になります。
-  風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。





 **警告** こんなときは（対処のしかた）

-  雷が鳴り出したら、本装置や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。
-  動作が異常、音が出ないなど故障状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙がなくなることを確認して当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  床や壁の掃除などによって、電源アダプタやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。
付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

 **注意** 使用方法・設置環境について

-  直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。
-  密閉したところに置かないでください。また、テールクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
-  長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

 **お願い** 使用方法・設置環境について

-  落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。
-  ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。
-  極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。
-  テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカーボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると受信妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A
- 本装置の仕様は国内向けになっていますので、規格の異なる海外でご使用いただくことはできません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。ただし、本装置の故障・誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お使いになる前に

■ 添付品の確認

「リモートホン AT-1000」（以下、「本装置」と記します）には、以下の添付品があります。次のものがそろっていることをご確認ください。

品名	数量	備考
本体	1	
AT-1000データ入力ソフト	1	DVD
電源アダプタ	1	
SDカード	1	
モジュラーコード	1	3m
木ネジ	2	壁掛け用
取扱説明書	1	本書

※ 製品に同梱された電源アダプタは、本製品専用です。他の製品に使用しないでください。

万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、販売店または当社営業所へご連絡ください。当社営業所については当社ホームページの「営業拠点」をご覧ください。

【タカコムホームページアドレス】

<https://www.takacom.co.jp>

■ 取扱説明書の構成について

本取扱説明書は、「本体編」および「データ編」で構成されています。

- 「本体編」は、本体装置の接続方法や設定・操作のしかたなどが記載されています。
- 「データ編」は、AT-1000 データ入力ソフト（以下「本ソフト」、または「入力ソフト」と記します）のセットアップから起動・終了のしかた、応答メッセージの作成方法などについて記載されています。

本装置は、「本体装置」と「入力ソフト」により構成されています。

■ ナンバー・ディスプレイについて

本装置は、ナンバー・ディスプレイ（※）に対応しています。ナンバー・ディスプレイはNTTが提供するサービスで、着信があると相手の電話番号を表示できる機能です。

ナンバー・ディスプレイにご加入になるときは、NTTへ申し込んでください。くわしくは、NTT窓口へお問い合わせください。

※ ナンバー・ディスプレイ：発信電話番号表示サービス

■ 取り付けについて

- 共同電話、公衆電話、地域集団電話にはご使用になれません。
- 規格の異なる海外ではご使用になれません。

■ 停電について

- 停電すると本装置は着信に 응답しません。回線に 응답中の場合は、停電と同時に回線への応答を終了します。
- 内蔵の時計は停電時でも保持されます。（保持期間：約7年）
- 停電しても録音内容や各種データが消えることはありません。
- 留守セット中に停電した場合、停電復旧後も停電前と同様に留守セット状態となります。また、タイマー運用中に停電して、停電復旧した場合は、停電復旧した時点に対応したタイマー動作になります。

■ メッセージデータについて

本装置は、あらかじめ録音されている応答メッセージ以外に、任意に作成したメッセージを応答メッセージとして使用することができます。この応答メッセージは、本体装置で録音するほかに、入力ソフトを使用して作成できます。応答メッセージの作成方法は、「音声合成」、「マイクなどからの録音」、「音声取込」があります。

この応答メッセージにおいて、「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

👉ワンポイント

- 本装置には、次の固定メッセージが保存されています。

【応答メッセージ1（応答録音）】

「ただいまの時間は留守番電話がご用件を承ります。ピーという信号音のあとに、お名前とご用件をお話ください。」

【応答メッセージ2（応答専用）】

「ただいま、電話に出ることができません。恐れ入りますが、改めてお電話をいただきますようお願いいたします。」

■ SD カードについて

● 対応カード

SD/mini SD/micro SD/
SDHC/mini SDHC/micro SDHC

- 512MB～32GBのSDカードに対応しています。
 - mini SD/micro SD/mini SDHC/micro SDHCを本装置に挿入する場合は、SDカードアダプタを使用してください。
 - SDHC UHS-IIIには対応していません。
- ※ すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
正しく認識できない場合は、別のSDカードをお使いいただけますようお願いいたします。

STOP お願い

- 本装置で使用したSDカード内のファイルを入力ソフト以外の操作により編集したり、追加や削除をしないでください。本装置で正常に読み取ることができなくなります。

👉 ワンポイント

- 本装置はFAT32のファイルシステムのSDカードに対応しています。SDカードをフォーマットする場合は、FAT32のファイルシステムでフォーマットしてください。FAT32以外のファイルシステムのSDカードは使用できません。

● 録音できる用件メッセージについて

本装置で使用するSDカードには最大120分、300件までの用件メッセージが録音できます。

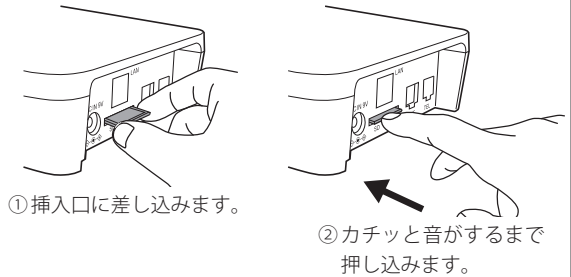
👉 ワンポイント

- 録音された用件メッセージが300件に満たない場合でも、合計した録音時間が120分を超えている場合は録音できません。
- 用件メッセージの録音時間は、SDカードの容量に関係なく、最大120分です。

● 本体装置に入れる

SDカードのライトプロテクトがロックされていないことを確認して、表面を上にしてSDカード挿入口に差し込みます。奥までしっかり差し込みます。
※ カチッと音がして、カードが少し戻ります。

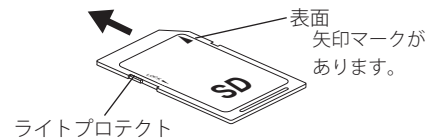
本体装置後面



STOP お願い

- 差し込む方向と表裏を間違えないように注意してください。間違えると機器を破損することがあります。

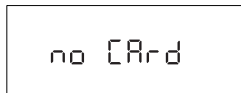
この方向に差し込みます。



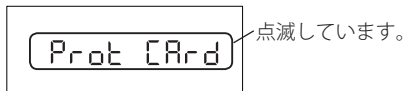
- 本装置では、SDカードのライトプロテクトがロックされた状態では使用できません。必ずロックを解除してセットしてください。
- 差し込んだとき、ディスプレイにエラーが表示された場合は、もう一度差しなおしてください。

ワンポイント

- SD カードが入っていない、または入っていても入り方が完全でない場合、スピーカから警報音（「ピピピピ」）が鳴って、ディスプレイは以下の表示になります。



- ライトプロテクトがロックされた SD カードを差し込むと、ディスプレイは以下の表示になります。



- ・スピーカから警報音（「ピピ、ピピ、・・・」）が鳴り続けます。

- 市販で購入された SD カードをそのまま差し込むと、ディスプレイは以下の表示になります。



このときは、入力ソフトにより作成した各種のデータもしくは、工場出荷時のデータを SD カードに書き込んでください。詳細は「データを書き込む」（76 ページ）を参照してください。

● 本体装置から取り出す

本体装置が待機画面で、ディスプレイの SD カードマークが点滅していないことおよび、タイマーマークが点灯や点滅していないことを確認します。

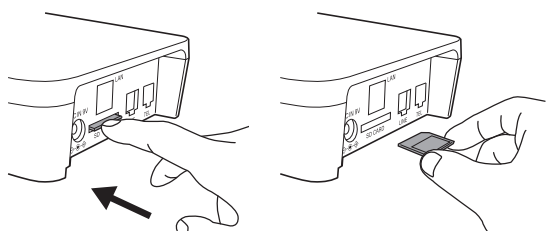
※ 留守セット中や SD カードマークが点滅中または、タイマーマークが点灯中および点滅中は、SD カードを取り出したり、電源アダプタを抜かないでください。内部のデータが壊れることがあります。

SD カードを押し込みます。

※ カチッと音がしたら、指を離します。

SD カードをつまんで取り出します。

本体装置後面



① カチッと音がするまで押し込んで指を離します。

② SD カードを取り出します。

■ お使いになる前の手順

● 本体装置だけでご使用になる場合

本装置の「リモコン機能」「タイマー機能」「自動呼出機能」を使用しないで、留守応答や留守録音などの「留守機能」のみで運用される場合は、本体装置だけでご使用になれます。



【本体装置での操作】

- 1 時計を合わせる（12 ページ）
本体装置の年月日時刻を設定します。
- 2 応答メッセージを操作する（18 ページ）
必要に応じて、応答メッセージを本体装置に録音します。
- 3 留守セットをする（22 ページ）
本体装置を留守セットします。

● 制御用パソコンをご使用になる場合

本装置を、留守応答や留守録音などの「留守機能」以外に、「リモコン機能」「タイマー機能」「自動呼出機能」などの各機能を使用して運用される場合は、本体装置と制御用パソコンを使用します。



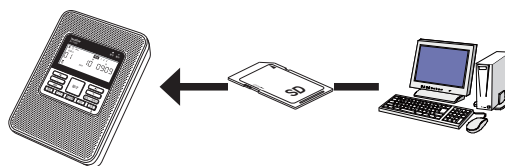
【本体装置での操作】



【制御用パソコンでの操作】

- 1 **時計を合わせる** (12 ページ)
本体装置の年月日時刻を設定します。
- 2 **応答メッセージを操作する** (18 ページ)
必要に応じて、応答メッセージを本体装置に録音します。

- 1 **メッセージを編集する** (50 ページ)
必要に応じて、応答メッセージを編集します。
- 2 **スケジュールを編集する** (60 ページ)
タイマー運用時の日課パターンと年間スケジュールを作成します。
※本ソフトにはあらかじめ曜日スケジュールと祝日スケジュールが登録されています。日課パターンを編集するだけで年間スケジュールがご活用いただけます。
- 3 **機能設定を登録する** (70 ページ)
リモコン機能や自動呼出機能などの機能を登録します。
- 4 **データを書き込む** (76 ページ)
SD カードに登録したデータを書き込みます。



- 3 **お使いになる前に** (4 ページ)
留守セットをする (22 ページ)
SD カードを本体装置に差し込み、留守セットします。

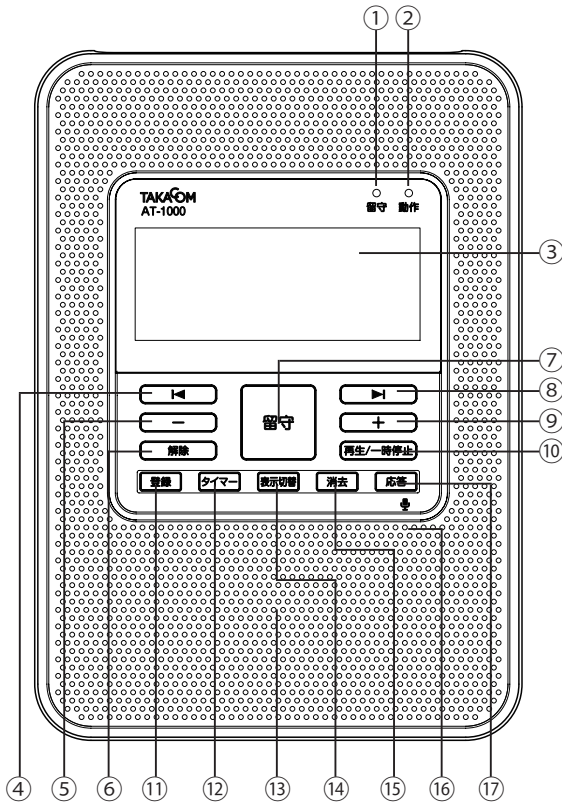
メモ

本体編

各部の名前とはたらき

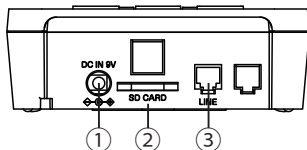
各部の名前とはたらき

■ 正面



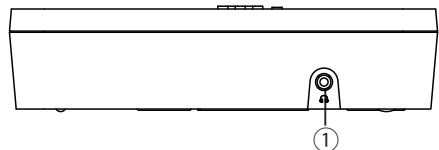
番号	名称	主なはたらき
①	留守ランプ	留守セットされると点灯します。また、用件メッセージが録音されると点滅します。
②	動作ランプ	動作中やベル受信しているとき点灯または点滅します。
③	ディスプレイ	動作状況や録音内容の情報を表示します。
④	早戻ボタン	用件メッセージを早戻しするときや、登録の選択をするときに押します。
⑤	音量 (小) ボタン	スピーカからの再生音量を小さくするときや、登録の選択をするときに押します。
⑥	解除ボタン	動作を終了するときや留守を解除するときに押します。
⑦	留守ボタン	留守セットするときを押します。
⑧	早送ボタン	用件メッセージを早送りするときや登録の選択をするときに押します。
⑨	音量 (大) ボタン	スピーカからの再生音量を大きくするときや、登録の選択をするときに押します。
⑩	再生/一時停止ボタン	用件メッセージを再生するときや、一時停止するときを押します。
⑪	登録ボタン	登録を開始するときを押します。
⑫	タイマーボタン	タイマーで留守セットするときや、タイマーを解除するときを押します。
⑬	スピーカ	録音内容などを拡声します。
⑭	表示切替ボタン	着信履歴 (着信日時や電話番号) などの表示を切り替えるときに押します。
⑮	消去ボタン	メッセージや登録値を消去するときを押します。
⑯	マイク	応答メッセージを録音するときに使用します。
⑰	応答ボタン	応答メッセージを選択するときや録音するときを押します。

■ 後面



番号	名称	主なはたらき
①	電源アダプタ用ジャック	電源アダプタを接続するジャックです。
②	SD カード挿入口	SD カードを挿入します。
③	回線用モジュラージャック	電話回線を接続するモジュラージャックです。

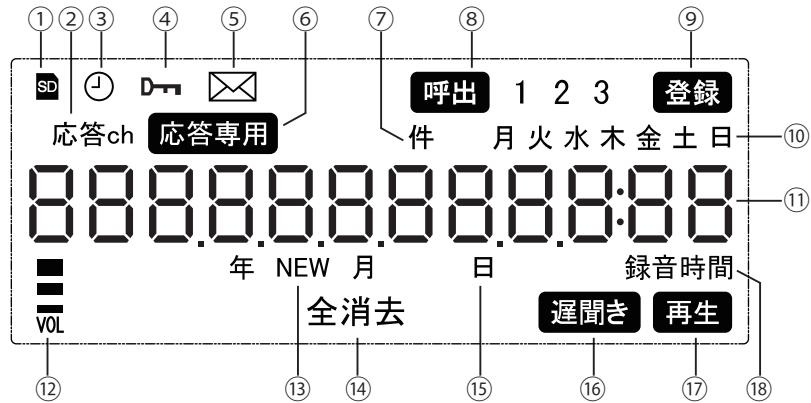
■ 左側面



番号	名称	主なはたらき
①	イヤホンジャック	イヤホンを接続します。

※ イヤホンを接続していると、スピーカからは音がでません。

ディスプレイの見方



①	(SD カード)	SD カードが挿入されていることを表します。
②	応答 ch	カウンタ⑪の上 2 桁が応答しているチャンネルを表示しているときに点灯します。
③	(タイマー)	タイマー機能を使用しているときに点灯します。
④	(暗証番号)	暗証番号が登録されているときに点灯します。
⑤	(SMS)	自動呼出設定の呼出先に SMS が選択されているときに点灯します。
⑥	応答専用	応答専用メッセージが選択されているときに点灯します。
⑦	件	カウンタ⑪の上 4 桁から 7 桁までで録音件数や着信件数を表示しているときに点灯します。
⑧	呼出 1,2,3	自動呼出がセットされているときや呼出先を確認中に点灯します。
⑨	登録	時刻や機能設定などを登録中のときに点灯します。
⑩	月～日	曜日表示しているときに点灯します。

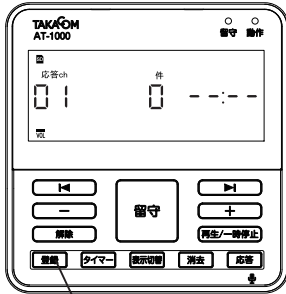
⑪	8888888888888888 (カウンタ)	応答 ch、録音件数、時刻、年月日、録音時間を表示しているときに点灯します。(12 桁)
⑫	VOL	再生音量を表示しているときに点灯します。
⑬	NEW (新)	留守セット時の未再生メッセージを表示しているときに点灯します。
⑭	全消去	用件メッセージや着信履歴が消去できるときに点滅します。
⑮	年・月・日	カウンタ⑪の数値と合わせて、西暦での年月日を表示しているときに点灯します。
⑯	遅聞き	遅聞き再生のときに点灯します。
⑰	再生	用件メッセージや応答メッセージを再生しているときに点灯します。
⑱	録音時間	カウンタ⑪の下 4 桁が録音時間を表示しているときに点灯します。

時計を合わせる

内蔵の時計に、現在の日付と時刻を登録します。時計を登録すると、用件が録音された日付と時刻（タイムスタンプ）をディスプレイに表示したり、タイマーで自動的に留守セットをすることができます。

例) 2019年8月26日14時38分に合わせます。

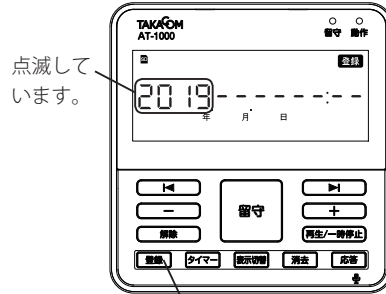
1 待機画面で **登録** を押します。



押します。

・機能番号選択表示になります。

4 **登録** を押します。

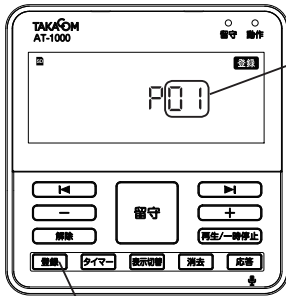


点減しています。

押します。

・月が点減します。

2 **登録** を押します。

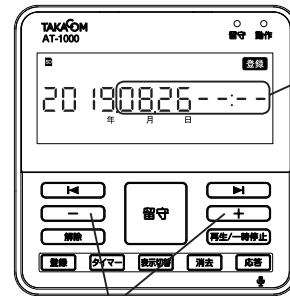


機能番号が点減しています。

押します。

・時刻登録表示になります。

5 手順3, 4を繰り返して、月・日・時・分を合わせます。

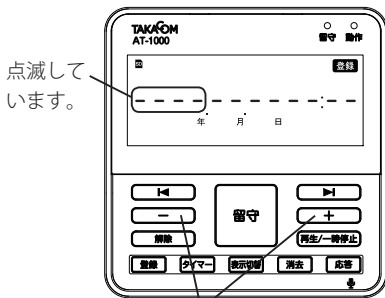


対象箇所が点減します。

押します。

・対象箇所が点減します。

3 **-** や **+** を押して、年を合わせます。

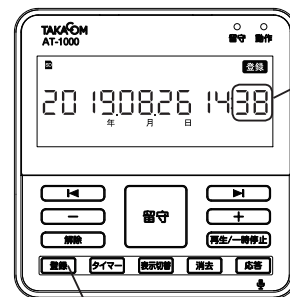


点減しています。

押します。

・年が点減します。

6 **登録** を押します。

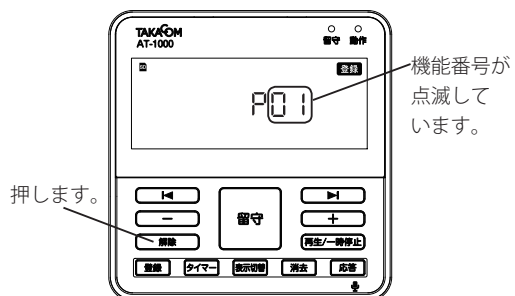


点減しています。

押します。

・「ピー」となって年月日時分が登録されます。
・機能番号選択表示になります。

7 解除 を押します。



- ・待機画面が表示されます。



- ・曜日は自動表示されます。

待機画面とディスプレイ

待機画面を表示する

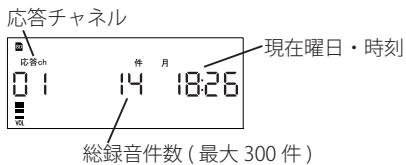
本体装置の時計を合わせた後で再度電源を入れたときに、しばらくするとディスプレイに待機画面または留守セット画面を表示します。本体装置の各種の設定を行うときに、待機画面を表示する必要があります。

【待機画面例】

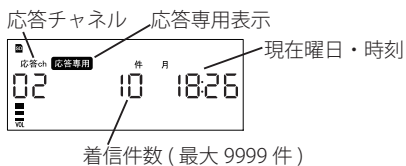


【待機画面のディスプレイの表示内容】

《 応答録音 》

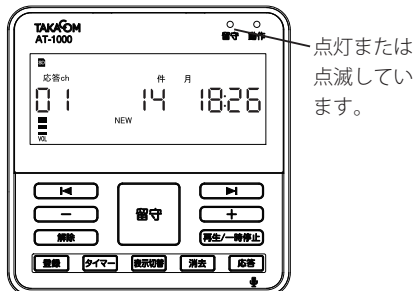


《 応答専用 》

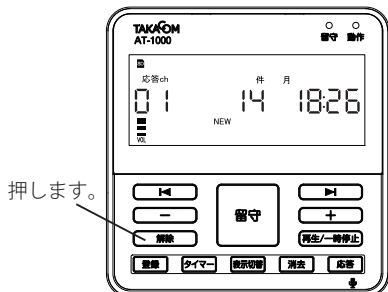


● 留守セット中のとき

留守セット中のときは、留守ランプが点灯または点滅しています。

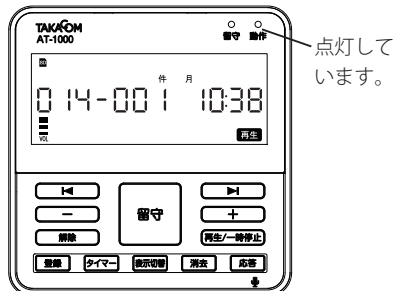


解除 を押すと留守ランプが消えて待機画面になります。

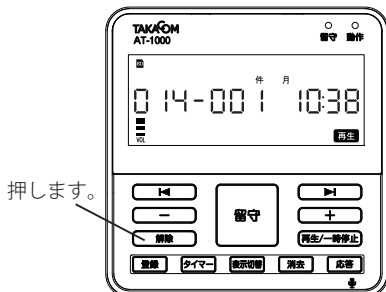


● 本体装置が操作中のとき

用件再生中や機能登録中などで本体装置が操作中のときは、動作ランプが点灯しています。



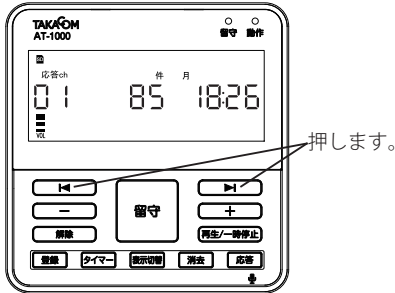
解除 を数回押すと動作ランプが消えて待機画面になります。



着信件数の表示のしかた

● 応答録音の場合

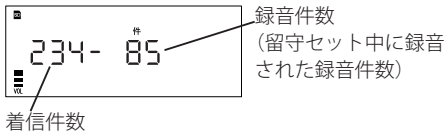
1 待機画面で または を押します。



- ※ を押すと、「着信件数－録音件数」が表示されます。
- ※ を押すと、「現在時刻」が表示されます。

2 または を押すと、表示画面が切り替わります。

【着信件数－録音件数】



【総録音件数－総録音時間】

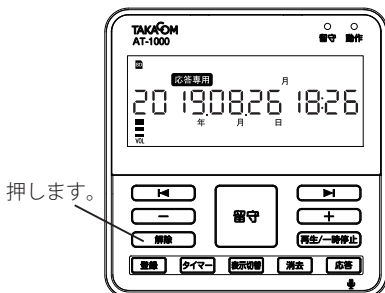


総録音件数 (SDカードに保存されている録音件数)

【現在時刻】



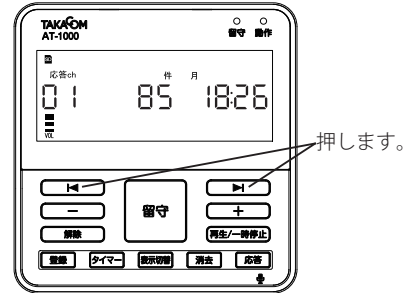
3 解除 を押します。



- ・待機画面が表示されます。

● 応答専用の場合

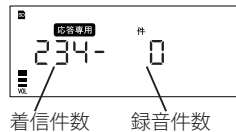
1 待機画面で または を押します。



- ※ を押すと、「着信件数－録音件数」が表示されます。
- ※ を押すと、「現在時刻」が表示されます。

2 または を押すと、表示画面が切り替わります。

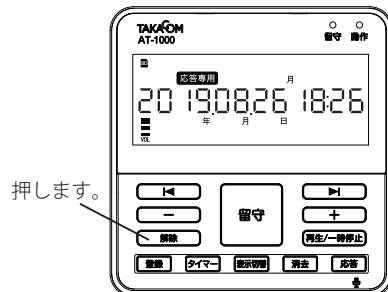
【着信件数－録音件数】



【現在時刻】



3 解除 を押します。



- ・待機画面が表示されます。

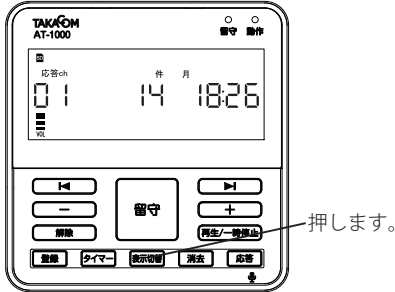
ワンポイント

- 着信件数、録音件数は留守セット時に毎回0件にクリアされます。
- 留守セット中でないときは、着信があっても件数はカウントされません。

着信履歴の表示のしかた

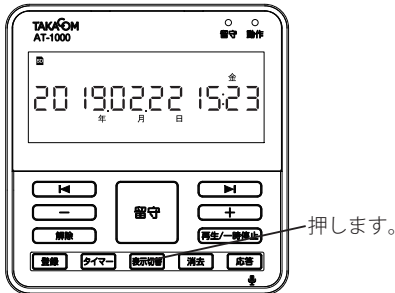
ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、かけてきた相手の電話番号が確認できます（着信履歴）。

- 1 待機画面または留守セット中に、**表示切替** を押します。



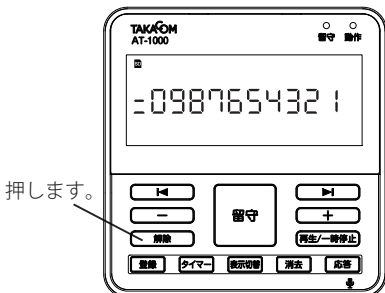
・一番新しい着信日時が表示されます。

- 2 **表示切替** を押すと、電話番号が表示されます。



- ※ **▶** を押すと、1つ新しい着信記録が表示されます。
- ※ **◀** を押すと、1つ古い着信記録が表示されます。

- 3 **解除** を押します。



- ※ **表示切替** を押すと、着信日時が表示されます。
- ※ **▶** を押すと、1つ新しい着信記録が表示されます。
- ※ **◀** を押すと、1つ古い着信記録が表示されます。
- ・待機画面または留守セット画面が表示されます。

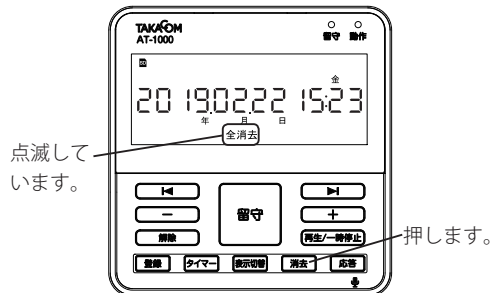
- **着信履歴を全消去する**

SDカードに保存されている着信履歴情報を削除するときは、着信日時や電話番号が表示されているときに、**消去** を長押しします。



・「全消去」が点滅しています。

消去 を押すと着信履歴情報がすべて消去されます。



ワンポイント

- 着信履歴は個別消去には対応していません。（特定の着信履歴を保存することはできません）

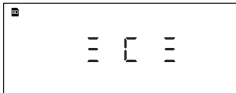
ワンポイント

- 相手の電話番号が表示されずに、次のように表示されることがあります。

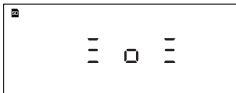
【相手が「184」をダイヤルしてからかけてきたとき】



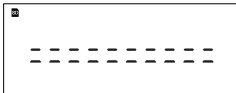
【相手が公衆電話からかけてきたとき】



【相手がナンバー・ディスプレイ未対応の地域からかけてきたとき】



【着信記録がないとき】



※上記以外に相手の電話番号が検出できなかったときや、送られて来なかったときには、【E】または【-】や【5】を表示することがあります。

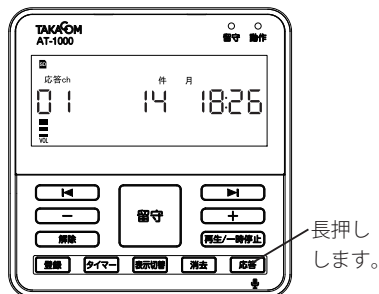
- 約2分間操作しないと、自動的に待機画面や留守セット画面に戻ります。
- 着信履歴は、最大300件まで記録します。300件を超えると、一番古い着信記録から順次消去します。
- 留守セット中でないときは、着信があっても着信履歴として保存されません。
- 時刻修正等の変更により、着信時刻が時系列にならない場合があります。
- 電話番号が表示されない場合、制御用パソコンにインストールされた入力ソフトにより、設定を変更してください。詳細は、「データ編 機能設定を登録する 詳細設定 ⑥その他：一次応答」(72ページ)を参照して、「する」に変更してください。

応答メッセージを操作する

本体装置のマイクを使用して応答メッセージを録音したり、本体装置のスピーカから応答メッセージを再生することができます。また、登録している応答メッセージを消去することができます。

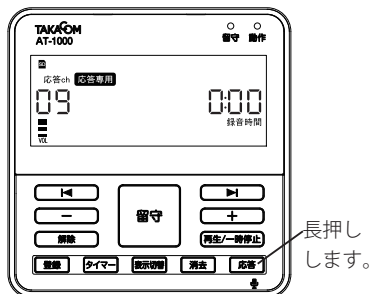
応答メッセージを録音する

1 待機画面で **応答** を長押しします。



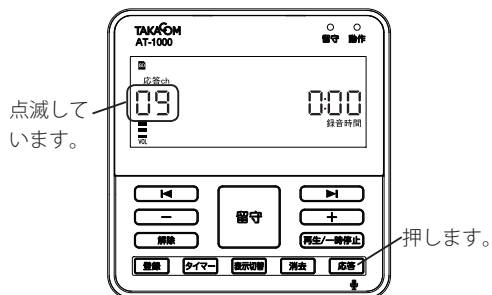
・ch 番号が点滅します。

4 **応答** を長押しします。



・「ピッピッピッピー」と鳴って録音が始まります。

2 **応答** を押して、録音する応答 ch を選択します。



5 録音が終了したら、**解除** を押します。



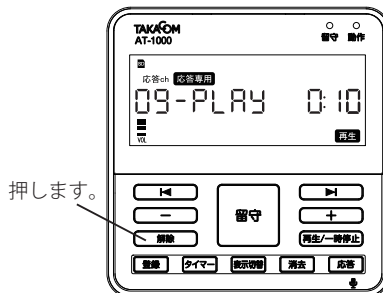
・「ピー」と鳴って録音した応答メッセージが再生されます。

3 **◀** や **▶** を押して留守セット中の応答動作を選択します。



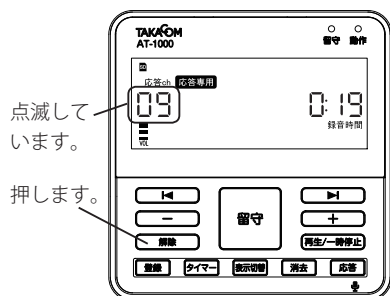
※「応答専用」の場合は、ディスプレイに **応答専用** が表示されます。

6 **解除** を押して、再生を終了します。



・ch 番号が点滅します。

7 解除 を押します。



・待機画面が表示されます。

ワンポイント

- マイクから 20～30cm 離れた位置で発声して録音することを推奨します。
- 応答メッセージは「応答録音」と「応答専用」合わせて、10 種類録音できます。
- 一つの応答メッセージの最大録音時間は 5 分です。
- 応答メッセージの再生音量は、**−** や **+** を押して調節できます。
- 本装置には「応答録音」と「応答専用」の固定メッセージが、それぞれ ch01 と ch02 に登録されています。

【ch01 の固定メッセージを任意に録音する場合の例】



本体の固定メッセージであることを表しています。固定メッセージの内容の詳細は 4 ページを参照してください。

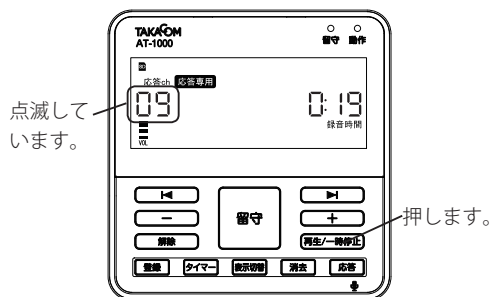
- 「応答メッセージを録音する」(18 ページ) の手順 1 から手順 3 を実施した後で、**解除** を押すと、応答メッセージの応答動作が変更できます。

応答メッセージを再生する

- 1 「応答メッセージを録音する」(18 ページ) の手順 1 から手順 2 を実施して、再生する応答 ch を選択します。

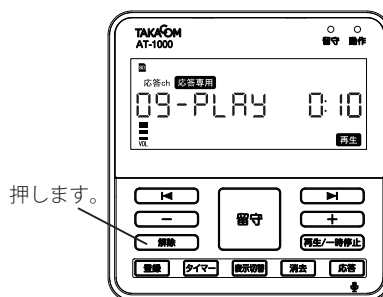
・ 応答 ch が点減します。

- 2 **再生/一時停止** を押します。



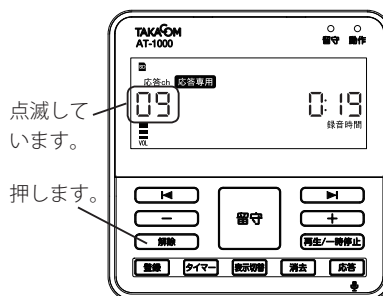
・ 応答メッセージが再生されます。

- 3 **解除** を押して、再生を終了します。



・ ch 番号が点減します。

- 4 **解除** を押します。



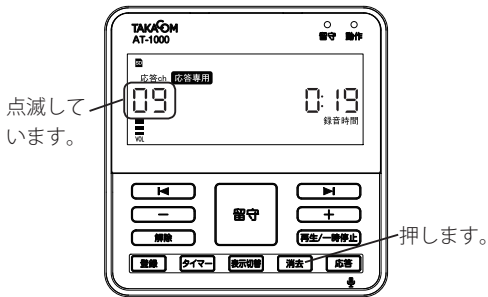
・ 待機画面が表示されます。

応答メッセージを消去する

1 「応答メッセージを録音する」(18 ページ) の手順 1 から手順 2 を実施して、消去する応答 ch を選択します。

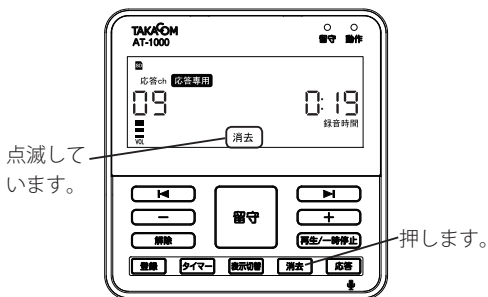
・ 応答 ch が点滅します。

2 「消去」を長押しします。



・ 「消去」が点滅します。

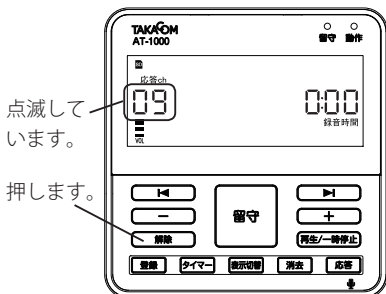
3 「消去」を押します。



・ 応答メッセージが消去されます。

・ ch 番号が点滅します。

4 「解除」を押します。

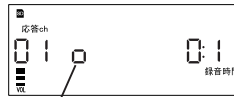


・ 待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 本装置には「応答録音」と「応答専用」の固定メッセージが、それぞれ ch01 と ch02 に登録されています。そのため、SD カードに設定されている ch01 や ch02 を消去した場合は、本装置に登録されている応答メッセージが送出されます。

【ch01 を消去した場合の例】



本体の固定メッセージであることを表しています。固定メッセージの内容の詳細は 4 ページを参照してください。

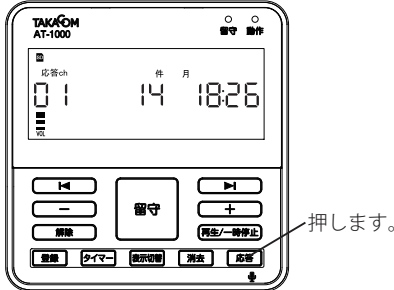
メモ

留守セットをする

相手の用件を録音する「応答録音」と、相手の用件を録音しない「応答専用」の2とおりの使いかたができます。

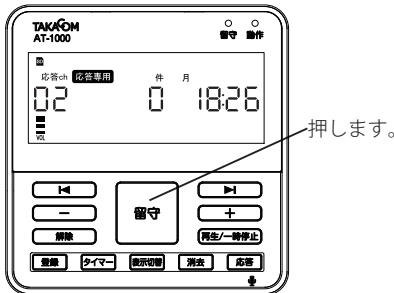
留守セットをする

1 待機画面で **応答** を押して、応答 ch を選択します。



・ 応答専用で使用する場合は、「応答専用メッセージ」を選択します。ディスプレイに【応答専用】が表示されます。

2 **留守** を押します。

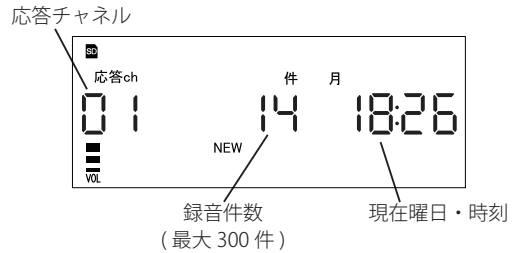


・「ピピピピッピ」と鳴って、留守ランプが点灯または、点滅（未再生メッセージがあるとき）します。

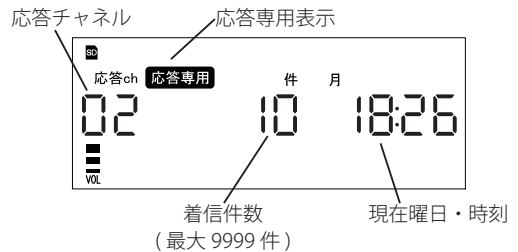
● 留守ランプの表示

ランプの状態	本装置の状態
消灯	留守解除中
点灯	留守セット中
遅い点滅	留守セット中で、未再生の用件があるとき
ときどき短く点灯	留守解除中で、未再生の用件があるとき

■ 応答録音の場合のディスプレイ表示



■ 応答専用の場合のディスプレイ表示



ワンポイント

- 録音された用件を消去せず、保存して留守セットをしたいときは、機能登録の「用件保存して留守セット」を「する」に設定してください。
- ディスプレイに【FULL】と表示されている場合、SDカードの残容量がありません。このときは、録音済みの用件を再生後消去してから留守セットしてください。
- 留守セット時に着信件数はクリアされます。
- 応答録音の場合、留守セット時に録音件数が表示されているときは、未再生の用件が残っています。


用件録音について

- 用件はSDカードに最大120分または300件まで録音できます。
- 用件はSDカードに録音するため、停電が発生しても録音内容が消えることはありません。
- 用件録音中に停電が発生した場合は、用件録音は保存されません。

■ 留守セット中の動作

● 応答録音の場合


1 呼出音が鳴り、電話がつながります



呼出音にあわせて、動作ランプが点滅します。
ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、相手の電話番号が表示されます。

※ 呼出音の回数は変更できます。お買い上げ時は1回で応答します。

2 相手に応答メッセージが聞こえます



はい〇〇です。

スピーカからも応答メッセージが聞こえます。

3 相手の用件を録音する



相手の用件を録音

スピーカから相手の声が聞こえます。用件の録音が終わると、電話が切れます。

居留守応答するには

- 手順2、3のとき、電話機から応答します。本機の留守番動作は停止し、相手と直接通話ができます。ただし、ビジネスホンに設置の場合、電話機で応答できないことがあります。

モニター音量を調整するには


- 相手の声（モニター音量）は、**−** や **+** を押して調節できます

ワンポイント

- 相手の声が小さい場合や、何も話さない場合は、8秒後に録音が停止し、電話が切れます。
- イヤホンを接続していると、スピーカからは音が出ません。

● 応答専用の場合


1 呼出音が鳴り、電話がつながります



呼出音にあわせて、動作ランプが点滅します。
ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、相手の電話番号が表示されます。

※ 呼出音の回数は変更できます。お買い上げ時は1回で応答します。

2 相手に応答メッセージが聞こえます

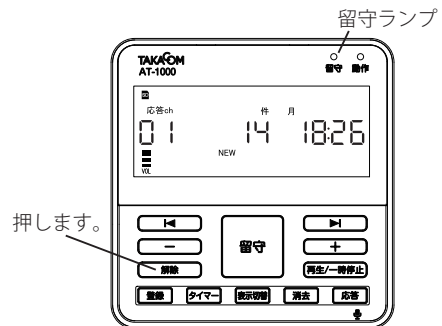


はい〇〇です。

スピーカからも応答メッセージが聞こえます。
応答メッセージ送出後、電話が切れます。

留守セットを解除する

- 1** **解除** を押します。



- ・留守ランプが消灯または、ときどき短く点灯（未再生メッセージがあるとき）します。
- ・待機画面になります。

留守機能の変更ができます

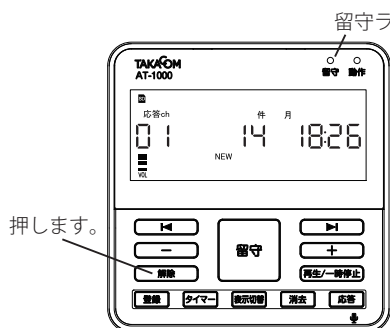
- 留守応答するまでの呼出回数を変更する。
(初期値：1回)
⇒ 項目番号：P10 (35 ページ)
- 用件録音の制限時間を変更する。
(初期値：3分)
⇒ 項目番号：P11 (35 ページ)
- 留守セット時に用件を保存する。
(初期値：保存しない)
⇒ 項目番号：P12 (35 ページ)

用件を再生する

留守セット中に用件が録音されているときは、留守ランプが点滅し、ディスプレイに録音件数が表示されています。

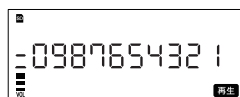
用件を再生する

- 1 留守セット中の場合は、**解除**を押します。



- ・留守ランプがときどき短く点灯します。
- ・待機画面になります。

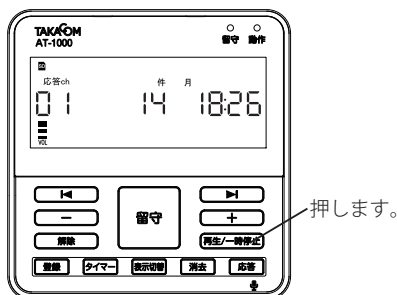
- ナンバー・ディスプレイに加入しているときは相手の電話番号を取得している場合は、再生中に**表示切替**を押すと、現在再生中の相手の電話番号が表示されます。



また、再度**表示切替**を押すと、相手からの着信日時が表示されます。



- 2 **再生/一時停止**を押します。

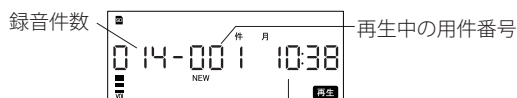


- ・録音されている一番古い未再生の用件から再生されます。すべての用件の再生が終わると、「ピピ・・・」と鳴ってディスプレイに【End】が表示され、再生が終了します。
- ・留守ランプが消灯します。

ワンポイント

- 留守セットのまま、**再生/一時停止**を押すと、用件を一時再生します。再生後、留守セットを継続します。(このときに再生した用件は、再生済みにはなりません)
- イヤホンを接続していると、スピーカからは音が出ません。
- 再生済みの用件を再生するには
 - ・用件を再生中に、**◀**を2回押すと、再生済みの用件メッセージの先頭に移ります。さらに**◀**を押すことによって前の再生済みの用件メッセージに移ります。
 - ・新しい用件が録音されていないときは、**再生/一時停止**を押すと、再生済みの用件メッセージの最初から再生します。
- 用件が録音されていなくても、雑音などで録音件数に加算される場合があります。
- 用件を再生すると再生済みとなり、留守セットすると、再生済みの用件は自動消去されます。このとき、機能登録を変更することで、留守セットしたときに、再生済みの用件を保存することができます。詳細は「機能の登録をする」(35ページ)を参照して、「用件保存して留守セット」(項目番号:P12)を「1(する)」に変更してください。

再生中のディスプレイ表示



用件録音開始曜日・時刻
(早戻・早送・一時停止中は、
用件再生経過時間)



- ・未再生の用件再生の場合は「NEW」が表示されます。

再生音量を調整するには


- 再生音量は、用件を再生中に**—**や**+**を押して調節できます。

■ 再生中にできること


● リピート再生・バック再生する

用件を再生中に、 を1回押すと、現在の用件の先頭へ戻って再生されます。(リピート再生)
また、用件を再生中に、 を2回押すと、一つ前の用件の先頭へ戻って再生されます。(バック再生)


● 早戻しする

用件を再生中に、 を長押しします。
・押ししている間、早戻しされます。
・早戻し中は録音経過時間が表示されます。



● スキップ再生する

用件を再生中に、 を押すと、次の用件の先頭へスキップして再生します。(スキップ再生)



● 早送りする

用件を再生中に、 を長押しします。
・押ししている間、早送りされます。
・早送り中は録音経過時間が表示されます。

● 再生を一時停止する

用件を再生中に、 を押します。
・再生が一時停止します。
再度  を押すと再生が再開します。
・一時停止の状態が約2分間続くと、留守セット中または待機画面に戻ります。

● 再生速度を遅くする(遅間きする)

用件を再生中に、 を長押しします。
・再生速度が通常の0.75倍で再生します。
再度  を長押しすると通常(1.0倍)の再生速度で再生されます。

ワンポイント

- 再生中に早送りやスキップ操作で、次の用件まで送った場合は、再生済みとみなされます。(リモコン再生時も同様で、この時点では消去されません)
- スキップ操作で再生をスキップされた用件は、次の留守セット時に消去されます。(リモコン再生時も同様です)

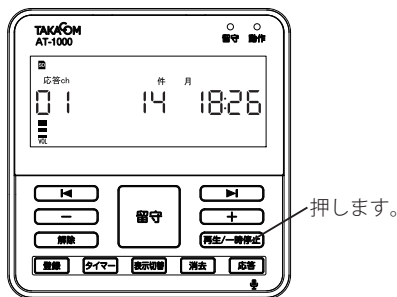
用件を消去する

再生済みの用件は、次の操作で消去できます。

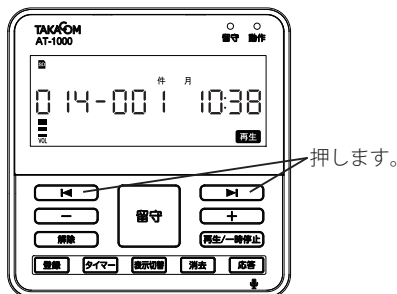
(機能登録対応表 (35 ページ) の「用件保存して留守セット」(項目番号:P12) が「しない」のときは、留守ボタンを押すと未再生の用件だけを残し他の用件は自動消去されますので、この操作を行う必要はありません)

■ 用件ごとに消去する

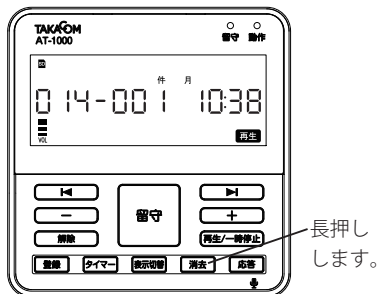
1 待機画面で **再生/一時停止** を押します。



2 **◀** または **▶** を押して、消去したい用件を再生します。

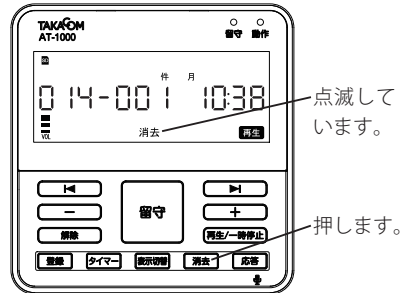


3 《消去したい用件を再生中に》 **消去** を長押しします。



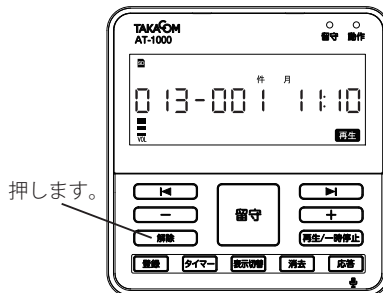
- ・消去アイコンが点滅して、再生が一時停止します。
- ・一時停止の状態が約2分間続くと、待機画面に戻ります。

4 **消去** を押します。



- ・用件が消去され、次の用件が再生されます。
(次の用件がない場合は、ディスプレイに【End】が表示され、再生が終了します)
- ・消去ボタンではなく、解除ボタンを押すと、再生が再開します。

5 **解除** を押します。



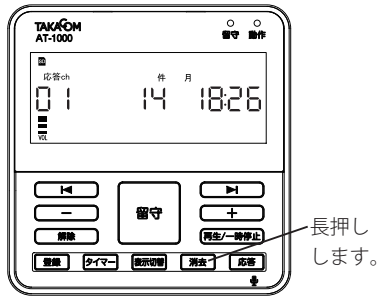
- ・待機画面に戻ります。

ワンポイント

- 再生中に早送りやスキップ操作で、次の用件まで送った場合は、再生済みとみなされます。(リモコン再生時も同様で、この時点では消去されません)
- スキップ操作で再生をスキップされた用件は、次の留守セット時に消去されます。(リモコン再生時も同様です)

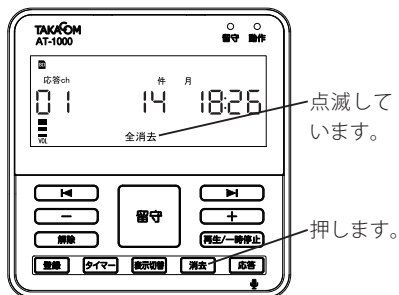
■ 用件を一括して消去する

1 待機画面で **消去** を長押しします。



・全消去アイコンが点滅します。

2 **消去** を押します。



・「ピッピッピッ…ピー」と鳴って、未再生/再生済みに関係なく全ての用件が消去されます。

ワンポイント

- 用件を一括して消去した場合、着信件数もクリアされます。(着信履歴はクリアされません)

リモコン操作をする

あらかじめ、制御用パソコンにインストールされた入力ソフトを使用して、リモコン操作をする際の暗証番号を登録することで、本装置に電話をかけて用件メッセージを再生するなど、各種のリモコン操作ができます。暗証番号を含む各種のリモコン設定については、「データ編 機能設定を登録する リモコン設定」(71 ページ)を参照してください。

リモコン再生をする

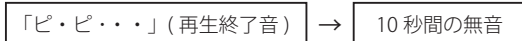
- 1 本装置に電話をかけます。
- 2 《応答メッセージ再生中に》暗証番号を押します。
・暗証番号を受け付けると、「ピー」という信号音が聞こえます。
- 3 未再生の用件の録音件数に続いて、未再生の一番古い用件が再生されます。
※再生中は、リピート再生やスキップ再生などができます。詳細は29ページを参照してください。
- 4 すべての用件を聞き終わると、**再生終了音**が聞こえます。
※再生終了音：「ピ・ピ・ピ・・・ピピ」
- 5 **【リモコン再生だけのとき】**
電話を切ります。
【各種リモコン機能を使うとき】
「その他のリモコン操作」(30ページ)を行います。

● 再生の順序

再生は次のような順序で進みます。



また、再生終了音のあと10秒間何もしないと電話が切れます。



この間に「その他のリモコン操作」(30ページ)の各操作ができます。

ワンポイント

- リモコン操作は、プッシュ信号の出る電話機から行ってください。
- 暗証番号は1.5秒未満の間隔でゆっくり確実に押してください。間違った暗証番号を16回押すと電話が切れます。
- 暗証番号を1.5秒以上押さないと、入力のリセットされます。
- 携帯電話のときは、リモコン信号が受け付けられない場合があります。
- 再生終了音を聞いてから、電話を切ってください。
- トールセーバー機能がご使用になれます。トールセーバー機能の詳細は、70ページを参照してください。
- ナンバー・ディスプレイに加入しているときは、相手の電話番号が通知されたとき、および、公衆電話からかけてきたときのみリモコン開始ができるように変更ができます。詳細は「データ編 機能設定を登録する リモコン設定 G：開始制限」(71ページ)を参照してください。
- 用件再生とメモ録音の操作以外はリモコン操作ができないように変更できます。詳細は「データ編 機能設定を登録する リモコン設定 F：機能制限」(71ページ)を参照してください。
- 用件が録音されていないときは、「リモコン再生をする」の手順3で「新しいメッセージはありません」と再生終了音が聞こえます。
- 用件録音が満杯のときは、「外出先から留守セットする」(31ページ)により用件を再生して、用件を消去してください。

● リモコン再生を途中でやめたとき

複数の用件メッセージが録音されていて、1回のリモコン再生ですべての用件メッセージを再生しないで、途中でリモコン再生をやめた場合の動作は、次のようになります。

(例)

【1回目】

- ・録音件数：3件（用件A・B・C）
- ・再生済み用件メッセージ：なし
- ・新しい録音件数：3件（用件A・B・C）



↑ → 用件Bまで再生
スタート
位置

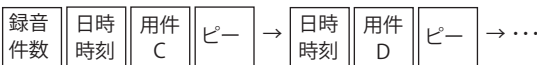
【2回目】

- ・録音件数：6件（用件A・B・C・D・E・F（新規3件））
- ・再生済み用件メッセージ：2件（用件A・B）
- ・新しい録音件数：4件（用件C・D・E・F）



↑ →
スタート
位置

2回目にリモコン再生したときは、新しい録音件数と用件Cからの用件メッセージが再生されます。



↑
新しい録音件数（4件）となります。

ワンポイント

- 2回目のリモコン再生で前回分の用件A・Bを聞きたいときは、用件メッセージの再生中にダイヤルボタン $\boxed{2}$ を押します。

■ リモコン再生中にできること

● リピート再生をする

用件を再生中にダイヤルボタン $\boxed{0}$ を押すと、再生中の用件の先頭から再生されます。

● 一つ前の用件を再生する

用件を再生中にダイヤルボタン $\boxed{1}$ を押すと、留守セット後に録音された用件の中で、現在再生中の用件の一つ前の用件の先頭から再生されます。

- ・再生終了音のあとに押しても、一つ前の用件を再生します。

ワンポイント

- 機能登録の「用件保存して留守セット（項目番号：P12）」（35ページ）を「する」に設定した場合で、留守セットする前に録音された用件は再生されません。

● 録音されている最初の用件を再生する

用件を再生中にダイヤルボタン $\boxed{2}$ を押すと、留守セット後に録音された用件の中で、再生済みの用件メッセージを含んで、留守セット後の最初に録音されている用件から再生されます。

- ・再生終了音のあとに押しても、最初の用件を再生します。

ワンポイント

- 機能登録の「用件保存して留守セット（項目番号：P12）」（35ページ）を「する」に設定した場合で、留守セットする前に録音された用件は再生されません。

● スキップ再生をする

用件を再生中にダイヤルボタン $\boxed{3}$ を押すと、再生中の一つ後の用件の先頭から再生されます。

● 早戻し再生をする

用件を再生中にダイヤルボタン $\boxed{\times}$ を押すと、1回押すごとに、約2秒間だけ、用件を早戻して再生されます。

● 相手番号をアナウンスする

用件を再生中にダイヤルボタン $\boxed{\#}$ を押すと、現在再生中の再生を中断して、相手番号アナウンス（※）を再生した後に、現在再生中の用件が先頭から再生されます。

※ 相手番号アナウンス：

- ・相手の電話番号があるとき
「相手先の電話番号は、××・・・×」
- ・相手の電話番号がないとき
「相手先の電話番号はありません」

その他のリモコン操作

■ 応答メッセージを録音する

● 現在流している応答メッセージの場合

1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **4** **#** を押します。
・現在設定している応答メッセージが「1」の場合は、「応答メッセージ(1)を録音します」のガイダンス・メッセージが流れます。

2 「ピー」という音が鳴り終わったら、録音が始まります。

3 《録音が終わったら》
ダイヤルボタン **4** を押します。
・「ピー」と鳴ってから、録音した応答メッセージが聞こえます。
・録音した応答メッセージを再生後「ピーピピ」と鳴り、リモコン操作状態に戻ります。

● 任意の応答メッセージの場合

10種類の応答メッセージの任意の応答メッセージを上書きする場合は、「現在流している応答メッセージの場合」の手順1において、以下のようにします。

【応答メッセージ1を上書き録音するとき】
ダイヤルボタン **4** **1** を押します。
・「応答メッセージ(1)を録音します」のガイダンス・メッセージが流れます。

【応答メッセージ5を上書き録音するとき】
ダイヤルボタン **4** **5** を押します。
・「応答メッセージ(5)を録音します」のガイダンス・メッセージが流れます。

【応答メッセージ10を上書き録音するとき】
ダイヤルボタン **4** **0** を押します。
・「応答メッセージ(10)を録音します」のガイダンス・メッセージが流れます。

このとき、リモコン操作終了時に現在セットされている応答 ch が、録音した ch に自動的に切り替わります。

ワンポイント

- 応答録音用を応答専用メッセージとして録音することはできません。その逆も同様です。
- リモコン操作で未録音の応答 ch に録音すると、自動的に応答録音用になります。

■ 応答メッセージの番号を変える

1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **6** **応答番号** を押します。
(応答1のときは、**6** **1** を、応答5のときは、**6** **5** を、応答10のときは、**6** **0** を押します)

2 選択した応答メッセージが聞こえるので、内容を確認します。
※ 本装置をタイマー運用しているときは、リモコンで応答メッセージの番号を変えることはできません。

■ 応答メッセージを再生する

1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **6** **#** を押します。
・現在設定している応答メッセージが再生されます。

ワンポイント

- 登録されていない応答メッセージが指定されたときは、「応答メッセージ (xx) の録音がありません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。(「xx」はチャンネル番号)

■ 外出先から留守セットする

留守セットを忘れて外出したときは、外出先からリモコン操作で留守セットができます。

- 1 本装置に電話をかけ、呼び続けます。
(呼出音が45秒または90秒鳴ると、応答します)
 - ・呼出音の設定については、「データ編 機能設定を登録する リモコン設定 E: 解除待機時応答時間」(71 ページ) を参照してください。

- 2 《固定の応答メッセージ再生中に》暗証番号を押します。
 - ・固定の応答メッセージ：
「ただいま、電話に出ることができません。恐れ入りますが、あらためてお電話をいただきますようお願いいたします。」
 - ・暗証番号を受け付けると、「ピー」という信号音が聞こえます。
 - ・未再生用件がある場合は再生されます。

- 3 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **5** **#** を押します。
 - ・「再生済みメッセージを消去して留守セットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
 - ・「ピー」という音が聞こえ、電話が切れます。
 - ・機能登録の「用件保存して留守セット」(項目番号:P12)が「しない」のときは、再生済みの用件は消去されます。

ワンポイント

- お買い上げ時は、外出先から留守セットはできない設定になっています。制御用パソコンにインストールされた入カソフトにより、設定を変更してください。詳細については、「データ編 機能設定を登録する リモコン設定 D:留守セット」(71 ページ) を参照してください。
- 消去するメッセージがないときや、機能登録の「用件保存して留守セット」(項目番号:P12)が「する」のときは、「留守セットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。(留守セットのみ)
- タイマーセット中で留守解除の時間帯に外出先から留守セットしたときは、以降のスケジュールの有無により以下の動作になります。
 - 【スケジュールがある場合】
スケジュールを繰り上げて留守セットされます。
 - 【スケジュールがない場合】
「留守にセットできません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。

■ 留守セットを解除する

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **5** ***** を押します。
 - ・「留守を解除します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
 - ・「ピー」という音が聞こえ、電話が切れます。

■ 用件を消去して再セットする

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **5** **0** を押します。
 - ・「用件メッセージをすべて消去して留守セットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
 - ・「ピー」という音が聞こえ、電話が切れます。
 - ・機能登録の「用件保存して留守セット」(項目番号:P12)が「する」の場合でも、再生済みの用件は消去されます。

リモコン操作をする

■ メモ録音する

リモコン再生したあと、他の人への伝言や自分の覚えを残すのに便利です。

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **7** を押します。
・「メモを録音します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
 - 2 「ピー」という音が鳴り終わったら、録音を始めます。
 - 3 《録音が終わったら》
電話を切ります。
-

ワンポイント

- 録音の途中で約8秒間何も話さないと、電話が切れます。
- メモ録音の件数は、録音件数および再生のときの件数アナウンスに加算されます。
- メモ録音中に暗証番号を入力すると、再びリモコン操作が可能となります。
- SDカードが満杯時は、「メモの録音できません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。(メモ録音はできません)

■ タイマーをセットする

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **9** **#** を押します。
・「タイマーをセットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
・「ピピッ」という音が聞こえ、タイマーがセットされます。
-

■ タイマーを解除する

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **9** **✖** を押します。
・「タイマーを解除します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
・「ピピッ」という音が聞こえ、タイマーが解除されます。
-

■ 自動呼出機能をセットする

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **[8]** **[呼出番号]** を押します。
(呼出1のときは、**[8]** **[1]** を、呼出2のときは、**[8]** **[2]** を、
呼出3のときは、**[8]** **[3]** を押します)
・「呼出(1, 2, 3)をセットします」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
・「ピピッ」という音が聞こえ、呼出がセットされます。

ワンポイント

- 呼出番号が登録されていないときは、「呼出(1, 2, 3)をセットできません」のガイダンス・メッセージが聞こえ「ピピッ」という音がして、セットできません。

■ 自動呼出機能を解除する

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **[8]** **[✕]** を押します。
・「呼出設定を解除します」のガイダンス・メッセージが聞こえます。
・「ピピッ」という音が聞こえ、呼出が解除されます。

■ 自動呼出機能を確認する

- 1 《再生終了音のあとに》
ダイヤルボタン **[8]** **[#]** を押します。
・「呼出番号設定は(1, 2, 3)です」とセットされている呼出番号のガイダンス・メッセージが聞こえます。
・「ピピッ」という音が聞こえ、リモコン操作状態に遷移します。

ワンポイント

- 呼出番号がセットされていないときは、「呼出番号設定はありません」のガイダンス・メッセージが聞こえます。

ワンポイント

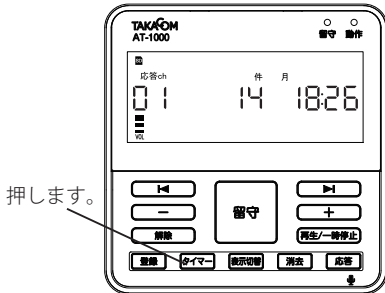
- 呼出番号を間違えてセットした場合は、自動呼出機能を解除したあとで、再度正しい呼出番号でセットしてください。
- 自動呼出機能をセット中に呼出先を変更するときは、自動呼出機能を解除したあとで、再度変更したい呼出番号でセットしてください。

タイマーをセットする

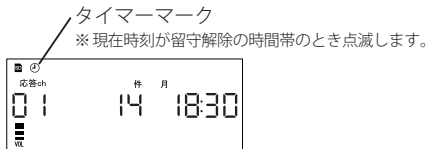
プログラムタイマーで、指定した曜日・時刻に、自動的に「留守セット」や「留守解除」ができます。プログラムタイマーは、制御用パソコンにインストールされた入カソフトにより作成された日課パターンや年間スケジュールにしたがって動作します。詳細については、「データ編 スケジュールを編集する」(60ページ)を参照してください。

タイマーをセットする

1 待機画面で **タイマー** を押します。



・ディスプレイのタイマーマークが点灯または点滅します。



2 留守セット時刻になると、自動的に留守セットになります。



- ・応答専用モードの場合は、「応答専用」アイコンが点灯します。
- ・留守ランプが点灯または、点滅（未再生の用件メッセージがあるとき）します。

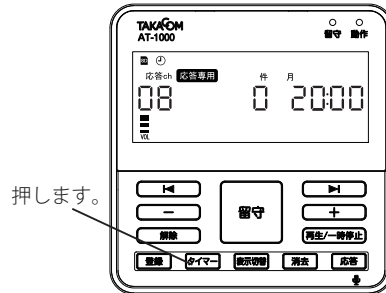
3 留守解除時刻になると、留守解除を警告音（ピピピピ・・・）でお知らせして、自動的に留守セットを解除します。



- ・留守ランプが消灯または、ときどき短く点灯（未再生の用件メッセージがあるとき）します。

タイマーを解除する

1 **タイマー** を押します。



・ディスプレイのタイマーマークが消えます。



ワンポイント

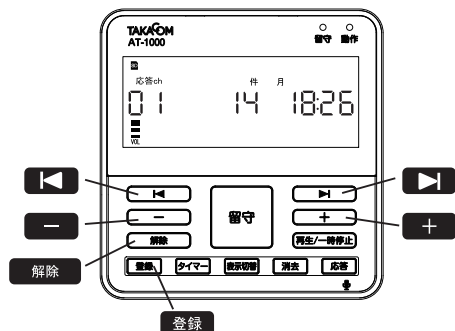
- お買い上げ時は、留守解除時刻になると、留守解除警告音（ピピピピ・・・）を鳴らした後に、自動的に留守セットが解除されます。留守解除時刻になっても、自動で留守セットが解除されないように設定変更ができます。詳細は機能登録対応表（35ページ）の「タイマーの留守解除」（項目番号：P13）を参照してください。
- タイマー機能を使うときは、必ず時計を合わせてください。
- タイマー留守セットの時刻前に手で留守セットしたいときは、**留守** を長押ししてください。手で留守セットすると、次回タイマーで指定されている応答メッセージで応答します。（ただし、翌日のスケジュールは繰り上げできません）
- 任意の応答メッセージで応答したい場合は、タイマーを解除した後で留守セットしてください。
- タイマーセット中に **表示切替** を長押しすると、次回予定のスケジュールが表示されます。

【19:00 から ch08 の応答専用モードで運用される例】



機能の登録をする

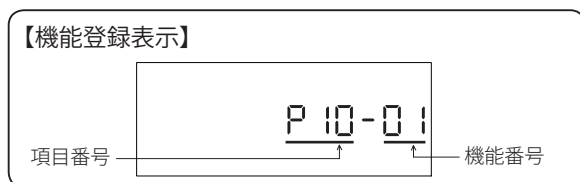
本装置の現在時刻や留守応答するまでの呼出音の回数などの設定が、用途に応じて変更（登録）できます。



■ 機能の設定変更のしかた

(例：留守応答までの呼出音の回数を 1 → 3 に変える)

- 1 待機画面で **登録** を押します。
- 2 **◀** または **▶** で項目番号を選びます。
(例では、「P10」を選びます)
- 3 **登録** を押します。
- 4 **-** または **+** で回数を選びます。
(例では、「03」を選びます)
- 5 **登録** を押します。
 - ・「ピー」と鳴って登録されます。
- 6 **解除** を押します。
 - ・待機画面に戻ります。



機能登録対応表

項目	項目番号	機能内容・番号	
① 時刻設定	P01	2019～2099年	
		01～12月	
		01～31日	
		00～23時	
		00～59分	
② 自動呼出登録	P02	呼出先選択(1～3)	
		呼出 ON/OFF	
③ 応答までのベル回数 ※1	P10	0回	0
		<input type="radio"/> 1回	1
		2回	2
		3回	3
		4回	4
		5回	5
		6回	6
		7回	7
		8回	8
		9回	9
④ 用件録音の制限時間	P11	無制限	0
		1分	1
		2分	2
		<input type="radio"/> 3分	3
		4分	4
		5分	5
		6分	6
		7分	7
		8分	8
		9分	9
⑤ 用件保存して留守セット	P12	<input type="radio"/> しない	0
		する	1
⑥ タイマーの留守解除 ※2	P13	手動	0
		<input type="radio"/> 自動	1

○印は、お買い上げ時の設定内容です。

※1 (③ 応答までのベル回数)

- ベル着信時に極性反転しない電話回線の場合、0回で設定しても1回以上で応答します。
- ご使用の電話回線がナンバーディスプレイに加入している場合、0回で設定しても1回で応答します。

※2 (⑥ タイマーの留守解除)

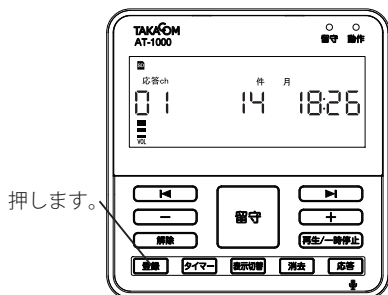
- 「手動」に設定すると、タイマーで解除時刻になったとき、警告音を送出し「留守を解除する時刻になりました」のガイダンス・メッセージが流れ、実際の留守解除はしません。
- 「自動」に設定すると、解除の時刻になると留守を解除します。

自動呼出を設定する

用件が録音されると、携帯電話や別の電話機を呼び出すことができ、呼び出し後は呼出先からのダイヤルボタン操作によるリモコン操作ができます。リモコン操作については、28 ページを参照してください。呼出先の登録は、制御用パソコンにインストールされた入力ソフトで行います。詳細については、「データ編 機能設定を登録する自動呼出設定」(73 ページ)を参照してください。

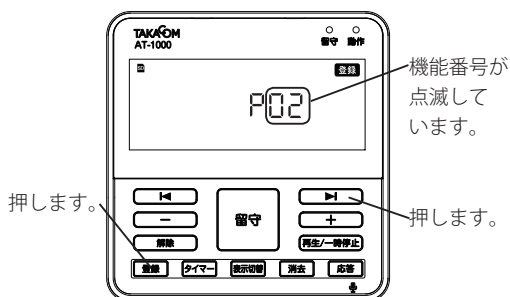
■ 自動呼出をセットする

1 待機画面で **登録** を押します。



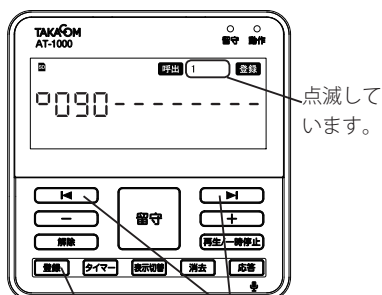
・機能番号選択表示になります。

2 **▶** を押して、機能番号 02 を選択したあとで、**登録** を押します。



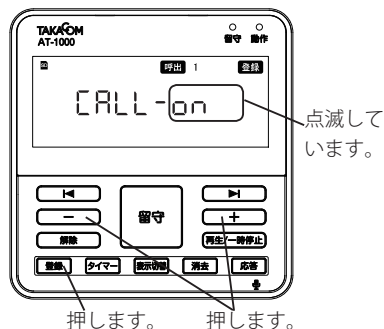
・呼出先番号選択表示になります。

3 **◀** や **▶** を押して、呼出先番号を選択して、**登録** を押します。



- ・呼出先の呼出先種別が「SMS」の場合は、「☒」が点灯します。
- ・呼出先の回線種別が「プッシュ回線」の場合は、電話番号の前に「P」が付加されます。
- ・呼出 ON/OFF 表示になります。

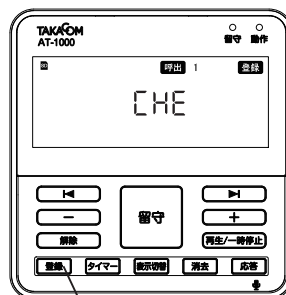
4 **-** や **+** を押して、「ON」を選択して、**登録** を押します。



・「ピー」と鳴って呼出確認開始待ち表示になります。

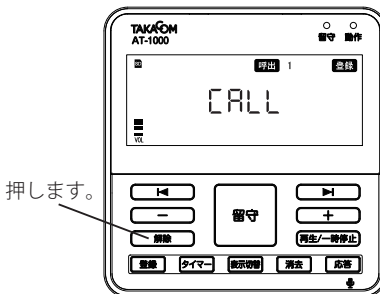
5 呼出先の電話番号が正しく設定されているかを確認する場合は、**登録** を押します。

※ 呼出先の電話番号の確認をしないで、自動呼出のセットを終了する場合は、**解除** を押します。



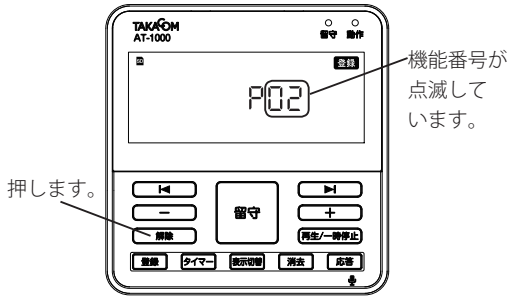
・登録した電話番号にダイヤルします。

6 **解除** を押します。



・機能番号選択表示になります。

7 解除 を押します。



・待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 呼出先の電話番号には以下の内容で表示されます。

表示	0~9	ト	ハ	□	P	L
働き	数字の信号	[*] 信号	[#] 信号	プッシュ 信号	3秒 ポーズ	10秒 ポーズ

表示	E	□
働き	登録 終了	※

※ 呼出先の呼出先種別が「SMS」の場合かつ相手先電話番号付加が「する」の場合、相手先電話番号の表示

- 自動呼出により呼び出されて用件を聞く場合は、暗証番号の入力設定により、以下となります。

【暗証番号入力：しない】

自動で用件が聞こえます。ただし本装置を構内交換機の内線に接続したときは、電話にただただでは用件再生しないで「ピッピッピ」という音が聞こえる場合があります。このときは、「0」を入力すると、用件が聞けます。

【暗証番号入力：する】

「ピッピッピ」という音が聞こえた後に、暗証番号を入力すると、用件が聞けます。

呼出回数・間隔が変更できます

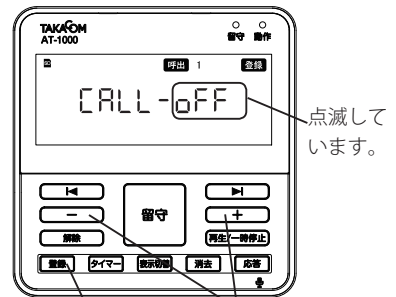
- お買い上げ時は、呼び出してもリモコンがかからなかったとき 15 分間隔で最大 3 回呼び出します。登録により、間隔は 5 分または 10 分に、呼び出し回数は 1 回から 9 回に変更できます。詳細は、「データ編 機能設定を登録する 自動呼出設定」(73 ページ) を参照してください。

■ 自動呼出を解除する

- 1 「自動呼出をセットする」の手順1から手順3を実施します。

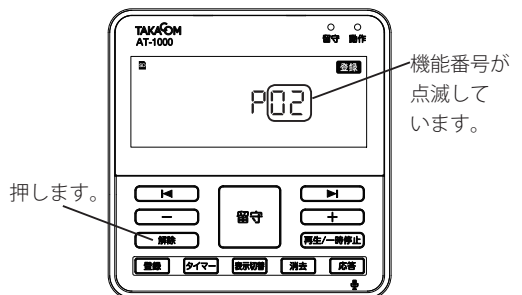
・呼出 ON/OFF 表示になります。

- 2 **−** や **+** を押して、「OFF」を選択して、**登録** を押します。



・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

- 3 **解除** を押します。

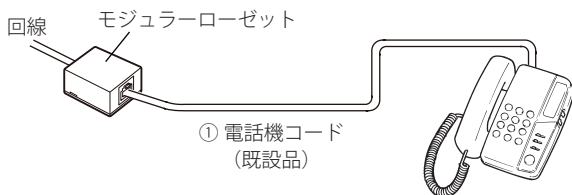


・待機画面が表示されます。

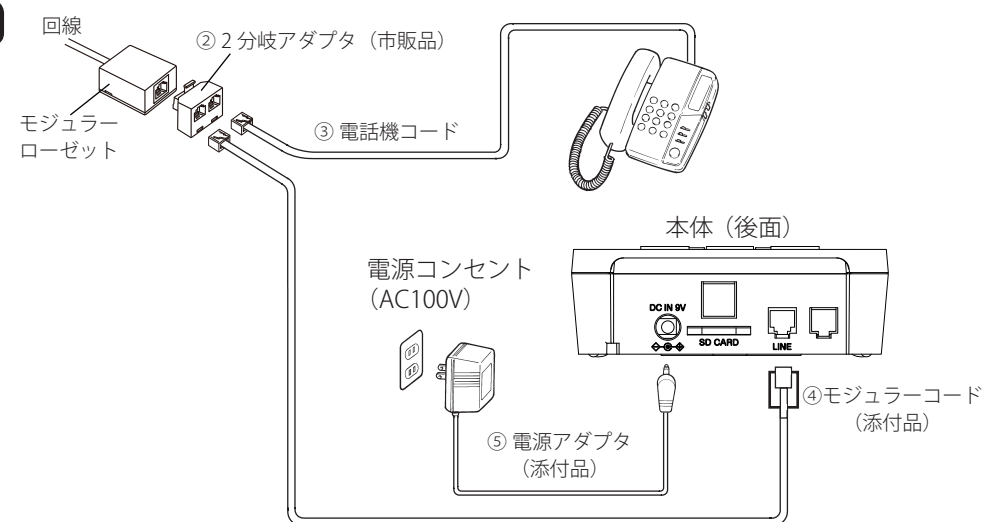
電話回線／電源を接続する

- ① 電話機コードをモジュラーローゼットから抜きます。
- ② 2分岐アダプタ（市販品）をモジュラーローゼットに取り付けます。
- ③ 電話機コードを2分岐アダプタのモジュラージャックに差し込みます。
- ④ モジュラーコード（添付品）を本体の電話回線用モジュラージャック《LINE》に差し込み、もう一方を2分岐アダプタのモジュラージャックに差し込みます。
- ⑤ 電源アダプタ（添付品）を本体の電源アダプタ用ジャックと電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

取付前



取付後



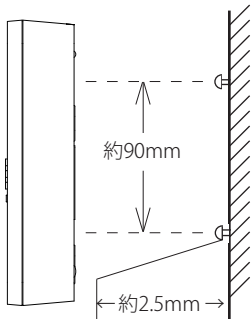
90mm

ネジを取り付けるとき、位置合わせにご使用ください

0mm

壁掛けができます

1. 間隔約90mmで、しっかりした壁や柱などに、垂直に、添付のネジを首下約2.5mmで取り付けます。
2. 本体底面のネジ取り付け用ミゾへネジを合わせ掛けます。



STOP お願い

- ベニヤ板や石膏ボードなど薄い板壁には直接取り付けないでください。
- 取り付けに磁石を使用しないでください。正常に動作しない場合があります。

ワンポイント

- 本装置には電源ボタンはありません。電源アダプタ（添付品）を本体（後面）の電源アダプタ用ジャックと電源コンセントに差し込むことで、使用可能になります。

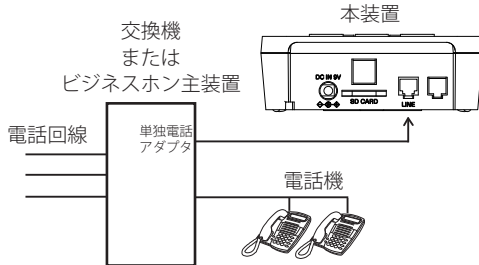
STOP お願い

- モジュラーコードを差し込むときは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- モジュラーコードを引き抜くときは、レバーを押さえながら引き抜いてください。

電話着信時に留守番動作しないとき

- ビジネスホンの単独電話アダプタや構内交換機の内線側などに接続したとき、正常に留守番動作しない場合があります。

【交換機またはビジネスホンの内線接続の場合】



この場合は、制御用パソコンにインストールされた入力ソフトにより、機能設定の詳細設定項目「その他－ナンバーディスプレイ」を「非対応」、「ベル検出－ベルOFF時間」を「100ms」に変更してください。詳細は72ページを参照してください。

メモ

データ編

データを登録する前に

音声合成などによるメッセージデータの作成や日課パターンを使用したスケジュールデータの作成、本体装置の機能設定は、お手持ちのパソコンにインストールした「AT-1000 データ入力ソフト」（以下、本書では「本ソフト」または「入力ソフト」と記述します）で行います。お手持ちのパソコンの動作環境や、メッセージデータやスケジュール作成の流れを理解した上でデータ作成を行ってください。

入力ソフトのインストール

■ パソコンの推奨仕様

お手持ちのパソコンが次の仕様合っているかお確かめください。動作環境が違くと、正常にデータ作成ができない場合があります。

OS ※日本語版対応 (注1)	(Microsoft) Windows 10 Home/Pro/Enterprise Windows 8.1 (無印) /Pro/Enterprise
CPU	OSが推奨する環境以上
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	1GB 以上の空き容量
ドライブ	DVD-ROM ドライブ (インストール時に必要)
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit) 以上
入力デバイス	キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
USB ポート (注2)	SD カード (添付品) が読み書きできる市販の SD カードリーダー等が接続できること (注3)
サウンド	Wave ファイル (μ-law) が再生できること

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

(注1) Windows RT 8.1 および Windows 10 (S モード) は対象外となります。

(注2) 入力ソフトで作成したデータは、SD カード経由で本体装置に読み込みます。本装置に添付されている SD カードではない市販の SD カードを使用する場合は、5 ページを参照してください。

(注3) SD カードに暗号化して書き込み等をするセキュリティ機能を保有しているパソコンの場合、SD カードに書き込みする際はセキュリティ機能を解除してください。

■ インストールのしかた

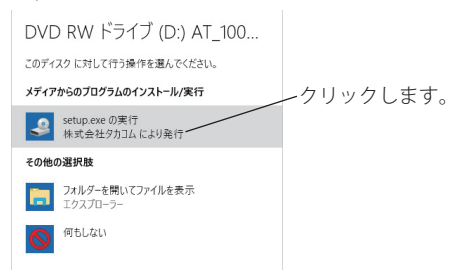
お手持ちのパソコンへ、添付の DVD から本ソフトをインストールします。ご使用になるパソコンが、Windows Update により最新の状態であることを確認した後で、他のソフトをすべて終了してからインストールしてください。また、インストールする際は、必ず管理者権限のある (Administrators グループに所属している) ユーザーが行ってください。

(Windows 10 の操作例)

① ほかのソフトをすべて終了します。 ④ [setup.exe の実行] をクリックします。

② インストール用 DVD をパソコンの DVD ドライブにセットします。
・操作確認画面が表示されます。

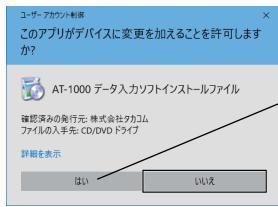
③ 操作確認画面をクリックします。



・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

・【自動再生】画面が表示されます。

⑤ [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

※ Microsoft .NET Framework 4.6.2 がインストールされていない環境の場合、Microsoft .NET Framework のインストールがはじまります。画面に従ってインストールしてください。Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上がインストールされている場合は、インストールされません。

・【セットアップウィザードの開始】画面が表示されます。

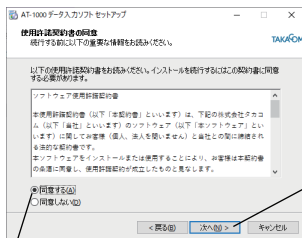
⑥ [次へ] ボタンをクリックします。



クリックします。

・【使用許諾契約書の同意】画面が表示されます。

⑦ 「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は [同意する] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



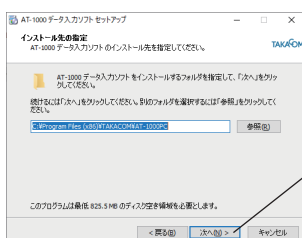
クリックします。

チェックを付けます。

・【インストール先の指定】画面が表示されます。

⑧ [次へ] ボタンをクリックします。

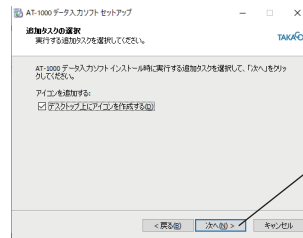
※ インストールするフォルダを変更する場合は、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダにしてください。



クリックします。

・【追加タスクの選択】画面が表示されます。

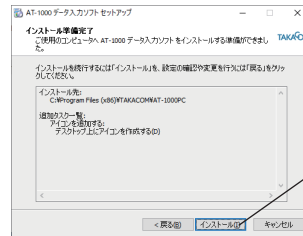
⑨ タスクの選択をして [次へ] ボタンをクリックします。



クリックします。

・【インストール準備完了】画面が表示されます。

⑩ [インストール] ボタンをクリックします。



クリックします。

・インストールが開始されます。

・インストールが終了すると、【セットアップウィザードの完了】画面が表示されます。

⑪ [完了] ボタンをクリックします。



クリックします。

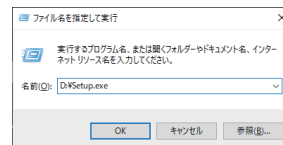
ワンポイント

● 操作確認画面が消えてしまったときなどで、【自動再生】画面が表示されない場合は、次のようにします。

① デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

② 「名前」欄に、キーボードから「D:¥Setup.exe」と入力して [OK] ボタンをクリックします。

・「D:」は DVD のドライブ名です。お使いになっているパソコンによって異なります。



■ アンインストール

本ソフトをアンインストール（削除）するときには、次の手順で行います。

① 本ソフトを終了します。

② 【Windows 10 の場合】

デスクトップ画面において、タスクバーを「スタート」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

【Windows 8.1 の場合】

デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から、「コントロールパネル」をクリックします。

③ 【表示方法：カテゴリの場合】

「プログラムのアンインストール」を開きます。

【表示方法：大きいアイコンの場合】

【表示方法：小さいアイコンの場合】

「プログラムと機能」を開きます。

④ 「AT-1000 データ入力ソフト」を選んでアンインストールします。

日付・時刻の確認

ご使用のパソコンの年月日・時刻の形式で、カレンダーの種類が「西暦」であることを確認してください。（Windows 10 の画面例）

① タスクバーに表示される年月日・時刻を確認します。



年月日が「西暦」で表示されていることを確認してください。

STOP お願い

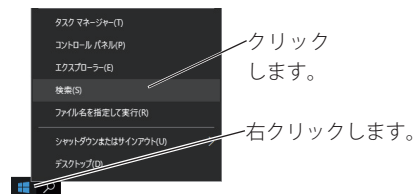
- カレンダーの種類を「和暦」にしないでください。スケジュールに従ったメッセージの応答機能が正常に動作しません。

■ 年月日が「和暦」で表示されている場合

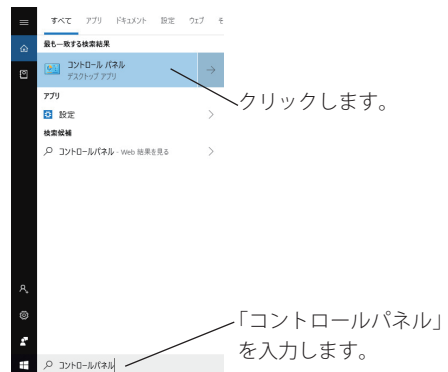
カレンダーの種類が「和暦」で表示されている場合は、以下の手順で「西暦」に変更してください。

（Windows 10 の操作例）

① デスクトップ画面の「スタートボタン」を右クリックして表示される一覧から、[検索]をクリックします。



② キーワード入力欄に「コントロールパネル」を入力して検索された「コントロールパネル」をクリックします。



③ 「時計と地域」をクリックします。

※ Windows 8.1 の場合は、「時計、言語、および地域」をクリックします。



クリックします。

・【時計と地域】画面が表示されます。

※ Windows 8.1 の場合は、【時計、言語、および地域】画面が表示されます。

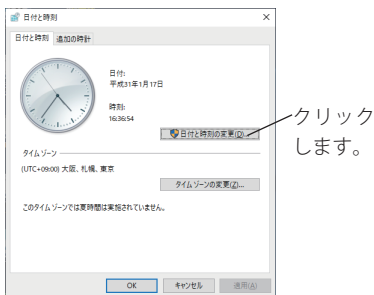
④ 「日付と時刻の設定」をクリックします。



クリック
します。

・【日付と時刻】画面が表示されます。

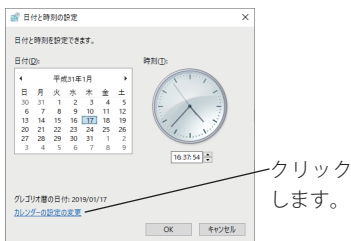
⑤ 「日付と時刻の変更」ボタンをクリックします。



クリック
します。

・【日付と時刻の設定】画面が表示されます。

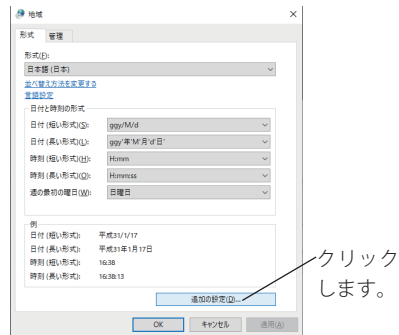
⑥ 「カレンダーの設定の変更」をクリックします。



クリック
します。

・【地域】画面が表示されます。

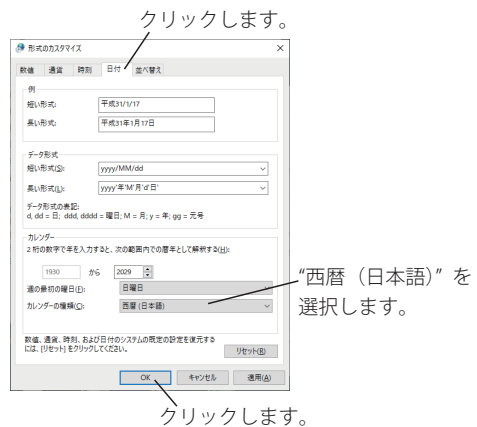
⑦ 「追加の設定」ボタンをクリックします。



クリック
します。

・【形式のカスタマイズ】画面が表示されます。

⑧ 「日付」タブをクリックして、「カレンダーの種類」で「西暦（日本語）」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



クリック
します。

「西暦（日本語）」
を選択
します。

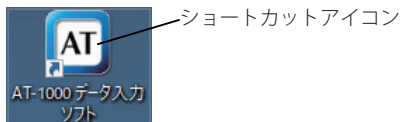
クリック
します。

⑨ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。

入カソフトを起動／終了する

起動のしかた

- ① デスクトップ画面にショートカットアイコンがある場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックします。



- ・【データ作成】画面が表示されます。

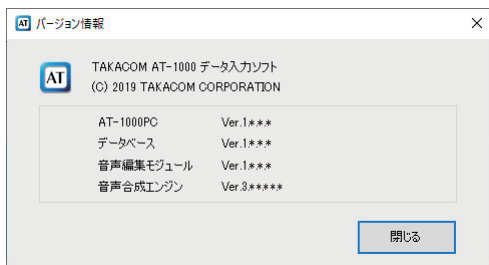
【データ作成】画面



■ バージョン情報の表示

本ソフトのバージョン情報を確認する場合、【データ作成】画面の「バージョン情報」ボタンをクリックします。

《バージョン情報表示例》

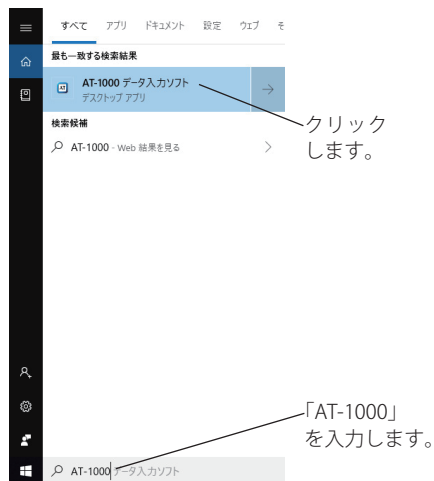


ワンポイント

- デスクトップ画面にショートカットアイコンがない場合は、以下の手順で【データ作成】画面が表示できます。

(Windows 10 の操作例)

- スタートボタンを右クリックして「検索」をクリックします。
- キーワード入力欄に「AT-1000」を入力して検索された「AT-1000 データ入力ソフト」をクリックします。



終了のしかた

- ① 本ソフトを終了するときには、【データ作成】画面の [終了] ボタンをクリックします。



クリックします。

データを作成する

メッセージやスケジュールなどの各種データを新規に作成したり、SDカードに保存された各種データや制御用パソコンのハードディスクなどに保存された各種データを読み込んで編集できます。

新規にデータを作成する

メッセージやスケジュールなどの各種データを新規に作成します。

- ①【データ作成】画面の[新規作成]ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・【編集】画面が表示されます。

ワンポイント

- 【編集】画面の操作方法については、50ページを参照してください。

【編集】画面



SDカードから読み込む

SDカードに保存されている各種データを、市販のSDカードリーダーを使用して制御用パソコンに読み込んで編集します。

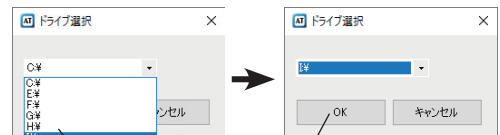
- ① 制御用パソコンに接続されたSDカードリーダーにSDカードを差し込みます。
- ②【データ作成】画面の[SD読み込]ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・【ドライブ選択】画面が表示されます。

- ③ [▼]をクリックしてSDカードが挿入されたドライブを選択した後で、[OK]ボタンをクリックします。

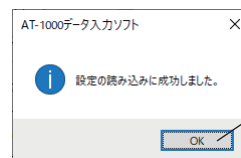


選択します。

クリックします。

- ・読み込み確認画面が表示されます。

- ④ [OK]ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・【編集】画面が表示されます。

ファイルから読み込む

制御用パソコンのハードディスクなどに保存したデータを読み込んで編集します。

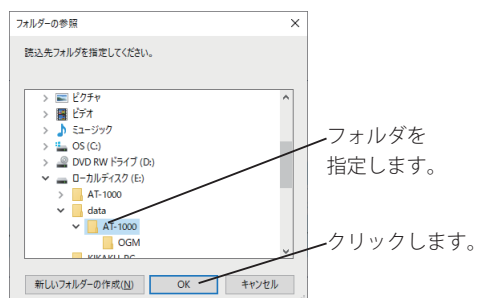
- ①【データ作成】画面の[ファイル読み込]ボタンをクリックします。



クリックします。

- ・【フォルダーの参照】画面が表示されます。

- ② データが保存してあるフォルダを指定して、[OK] ボタンをクリックします。



フォルダを
指定します。

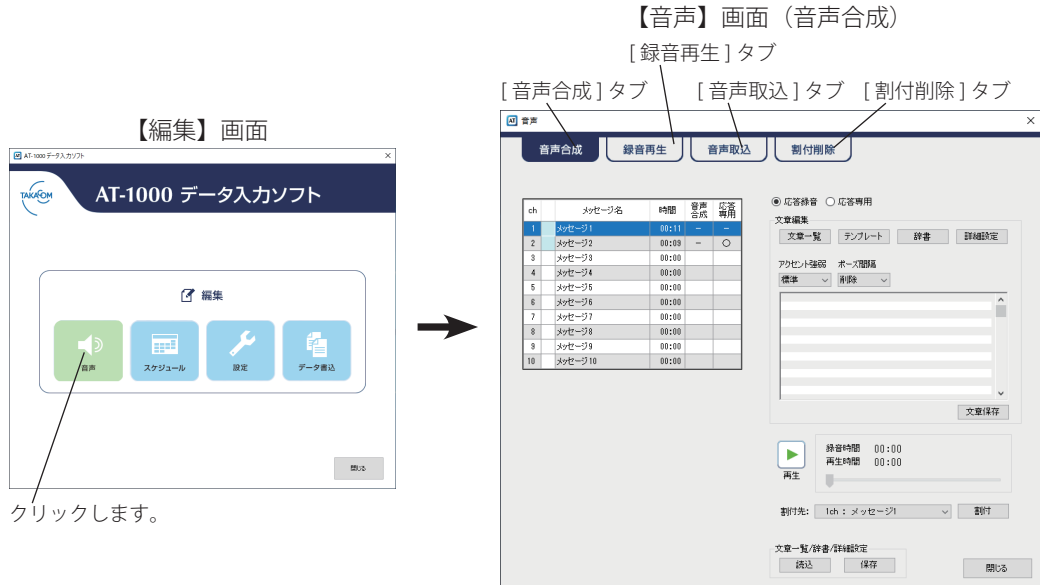
クリックします。

- ・【編集】画面が表示されます。

メッセージを編集する

相手に用件録音を依頼する「応答録音用メッセージ」と用件録音をしない「応答専用メッセージ」が編集できます。本ソフトにはあらかじめ「応答録音用メッセージ」と「応答専用メッセージ」で、2種類のサンプルメッセージが登録されています。応答メッセージは最大 10ch（1ch,2ch：サンプルメッセージ、3~10ch：任意のメッセージ）に割り付けることができます。

メッセージの作成方法は、テキストファイルからメッセージに変換する「音声合成」、録音デバイスからの再生音を録音する「録音再生」、パソコンや USB メモリから wave ファイルを読み込む「音声取込」があります。

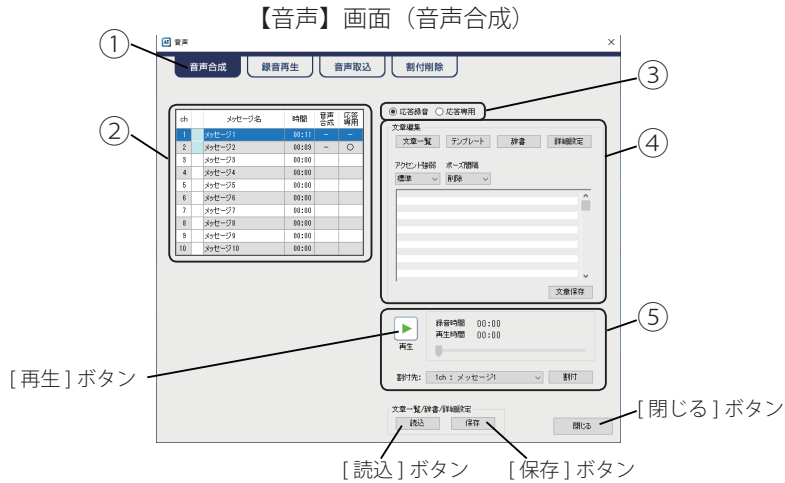


ワンポイント

- 一つの応答メッセージの最大録音時間は5分です。
- チャンネルに割り当てた応答メッセージを再生する場合は、【音声】画面（録音再生）の[再生]ボタンで再生できます。
詳細は「メッセージの再生と外部音源からの録音」（56ページ）を参照してください。
- サンプルメッセージは修正や削除ができます。
- 削除したり修正したサンプルメッセージは、再度【データ作成】画面から[新規作成]ボタンをクリックすることで、出荷時のメッセージ内容に戻すことができます。

音声合成によるメッセージ変換

テキストファイルなどからコピーペーストした文章や、キーボードから入力した文章を音声メッセージに変換します。



① [音声合成] タブをクリックします。

※【編集】画面から最初に表示される画面は、【音声】画面（音声合成）です。

② 編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:09	-	○
3	メッセージ3	00:00	-	-
4	メッセージ4	00:00	-	-
5	メッセージ5	00:00	-	-

→ 選択します。

・選択チャンネルが反転されます。

③ メッセージ種別を選択します。

応答録音 応答専用
 選択します。

④ 文章入力欄に音声合成で読み上げたい文章を入力します。

アクセント強調 ポーズ間隔
 標準 削除

はい、株式会社〇〇でございます。
 折角お電話いただきましたが、本日の業務は終了いたしました。
 ご用件は、留守番電話のピーという信号音の後に、お名前とご用件をお話ください。

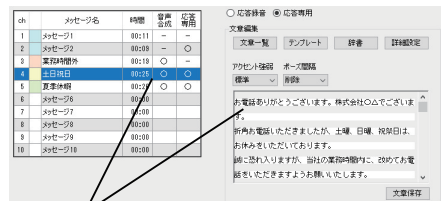
→ 文章を入力します。

文章保存

- ・テキストファイルからのコピーペーストができます。このとき半角文字は全角文字に変換されます。
- ・特殊文字を除く全角文字で最大 2500 文字まで入力できます。

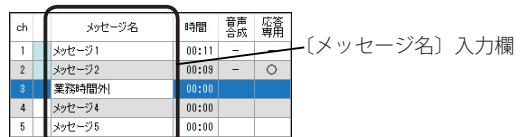
ワンポイント

● すでに音声合成により割り付けているチャンネルを選択した場合、文章入力欄には割り付けられているメッセージが表示されます。



チャンネル選択時に、音声合成によるメッセージが割り付けられている場合は、その内容を表示します。

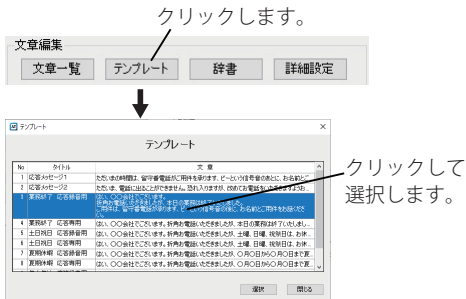
● メッセージ名を編集する場合は、[メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。



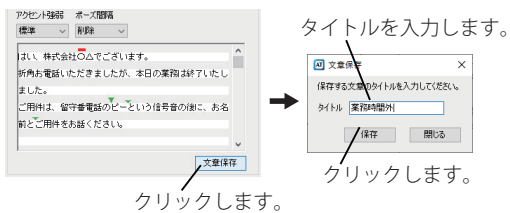
・最大 10 文字まで入力できます。

ワンポイント

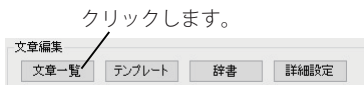
- [テンプレート] ボタンをクリックすると、文章例が表示されるため、該当の文章例を選択した後に、内容をアレンジすることができます。



- テンプレートや文章一覧から文章を選択した場合、すでに入力されているメッセージは消去されます。
- 編集された文章を保持しておくことができます。[文章保存] ボタンをクリックして表示される文章保存画面で、タイトルを入力してください。
 - ・文章は最大 100 件保存できます。
 - ・タイトルは最大 10 文字まで入力できます。



また保存された文章は、[文章一覧] ボタンをクリックして表示される一覧画面から確認できます。



- ⑤ メッセージを再生・割付します。

1) [再生] ボタンをクリックして、メッセージを再生します。

- ・音声合成されたメッセージが再生されます。
- ・文章を範囲選択すると、選択されている文章のみ再生します。
- ・再生中は [再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。



アクセントの強弱や文字列の間のポーズ時間の調節をする場合は、「アクセント強弱やポーズ間隔の調節」(54 ページ) を参照してください。

※ 作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生にならないことがあります。あらかじめご了承ください。

ワンポイント

- 電話番号を文章として入力した場合の読み方は、以下となります。

(例)

入力文章：「098-765-4321 までご連絡ください」

再生内容：「ゼロキューハチのナナログゴのヨンサンニイイチまでごれんらくください」

2) [割付] ボタンをクリックして、メッセージに合成された音声を割り付けます。



※ [割付] ボタンをクリックしないで操作タブで画面を切り替えたり、[閉じる] ボタンをクリックした場合などは、合成されたメッセージは破棄されます。

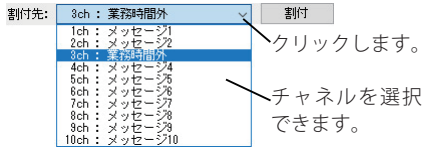
- ・メッセージ色が表示されます。(初期色：水色) このメッセージ色はスケジュールの日課パターンを設定した場合に日課パターン一覧に反映されます。日課パターン一覧については、61 ページを参照してください。

- ⑥ [閉じる] ボタンをクリックします。

- ・【編集】画面が表示されます。

ワンポイント

- 手順⑤.2)において、割り付けるチャンネルを変更することができます。割り付け先の[v]をクリックして表示される一覧から、チャンネルを選択してください。



- 音声合成によりメッセージを割り付けた場合は、[音声合成] 表示欄に“○”が表示されます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:09	-	○
3	業務時間外	00:19	○	-
4	メッセージ4	00:00	-	-

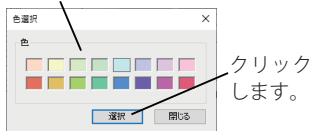
[音声合成] 表示欄

- メッセージ色は変更できます。チャンネルリストのメッセージ色をダブルクリックして表示される色選択画面から指定してください。

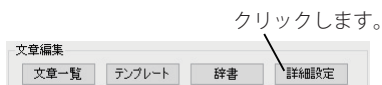
ダブルクリックします。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:09	-	○
3	業務時間外	00:19	○	-
4	メッセージ4	00:00	-	-

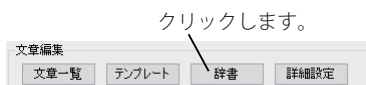
↓
クリックして選択します。



- [詳細設定] ボタンをクリックすると、文章を読み上げる速度や声の大きさなどが変更できます。「音声合成詳細設定」(54 ページ)を参照してください。

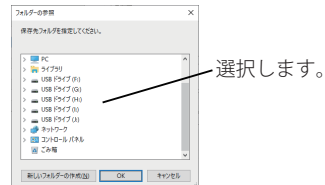


- [辞書] ボタンをクリックすると、単語の読み方などをあらかじめ登録しておくことができます。「辞書登録」(55 ページ)を参照してください。



ワンポイント

- お客様で任意に作成された文章一覧や辞書の登録内容および、音声合成詳細設定の各設定値を、外部メモリなどに保存したり、外部メモリなどから読み込んだりすることができます。[読込] ボタンや[保存] ボタンをクリックして表示される、【フォルダーの参照】画面からフォルダーを選択してください。

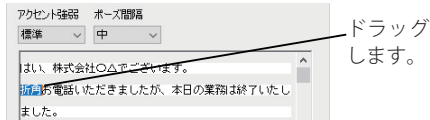


アクセント強弱やポーズ間隔の調節

文章入力欄で選択された文字列のアクセントの強弱（5段階）やポーズ間隔（3段階）の調節ができます。

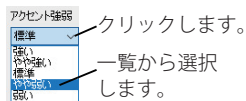
● アクセント強弱のつけかた

1. アクセントの強弱をつけたい文字列をドラッグします。

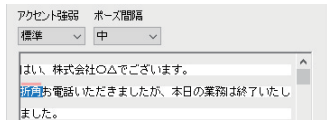


2. アクセント強弱の [v] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。

- ・アクセントの強弱をつけない場合は、「標準」を選択します。



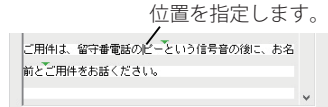
- ・強弱に応じて文字列の上に赤いバーが表示されます。



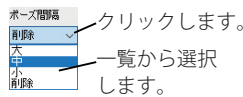
※ 熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発音にならない場合は、単語を辞書登録して読みにアクセントを付けてください。辞書登録については次ページを参照してください。

● ポーズ間隔のつけかた

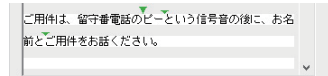
1. 空白時間を挿入したい箇所をマウスで指定します。



2. ポーズ間隔の [v] をクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。



- ・間隔に応じて指定位置に緑の逆三角形が表示されます。



音声合成詳細設定

アクセント強弱やポーズ間隔の他に、文章を読み上げる速度や声の大きさなど、各種の設定項目に詳細な設定ができます。

【音声合成詳細設定】画面



No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	速さ	文章を読むスピード	50 ~ 400%	90%
2	大きさ	声の大きさ	50 ~ 500%	100%
3	ピッチ	声の高さ	50 ~ 200%	100%
4	ポーズ小	ポーズ小を選択した場合の の間隔	10 ~ 10000ms	300ms
5	ポーズ中	ポーズ中を選択した場合の の間隔	10 ~ 10000ms	800ms
6	ポーズ大	ポーズ大を選択した場合の の間隔	10 ~ 10000ms	1000ms

(注) 音声合成詳細設定により変更された内容は、すでに登録されている音声合成メッセージには反映されません。変更登録後に音声合成により作成されたメッセージに反映されるため、ご注意ください。

[初期値に戻す] ボタン スライダー [登録] ボタン [閉じる] ボタン

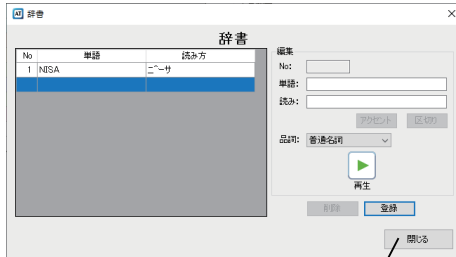
※ 設定値を工場出荷状態（初期値）に戻します。

スライダーをドラッグしたり、[数値入力] 欄に数値を入力した後で、[登録] ボタンをクリックします。

辞書登録

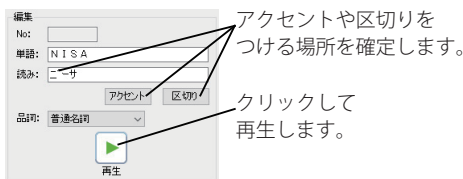
よく使う単語や、あまり一般的ではない言葉を辞書登録することができます。あらかじめアクセントをつけて調整を行い、辞書登録しておくことで、メッセージ編集が便利になります。

【辞書】画面

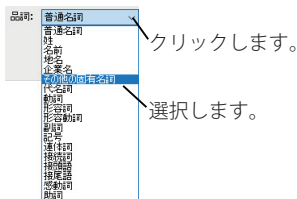


[閉じる]ボタン

1. 単語と読みを入力して、[再生]ボタンで音声を聞きながら、アクセントや区切りの位置を確認します。



2. 品詞の[v]をクリックして表示される一覧から単語の品詞を選択します。



3. [登録]ボタンをクリックします。



[削除]ボタン [登録]ボタン

- 最大 300 件登録できます。
- 【辞書】画面に反映されます。
- 【辞書】画面で単語を選択して、[削除]ボタンをクリックすると登録されている単語が削除されます。

ご注意

- 辞書登録した単語は登録後に割り付けたメッセージから反映されます。同じ単語でも辞書登録前に割り付けたメッセージには反映されませんので、ご注意ください。
- 文章の前後のテキストによって、意図した発音にならない場合がありますので、ご注意ください。

ワンポイント

- 文章入力欄で熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発音にならない場合があります。このときは熟語を辞書登録して読みにアクセントを付けることで、意図した発音にできます。

STOP お願い

- アクセントや区切りの位置を調節した単語を辞書登録するときは、必ず [再生] ボタンで再生して調節した内容を確認してから辞書登録をしてください。調節内容によっては、辞書が上手く登録できないことがあります。

メッセージの再生と外部音源からの録音

割り付けられているメッセージを再生したり、録音デバイスからの再生音を録音してチャンネルに割り付けます。



■ メッセージの再生

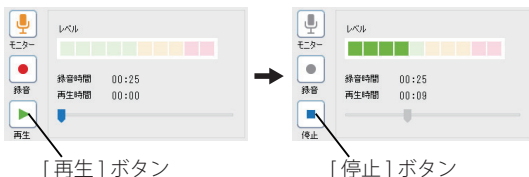
- ① [録音再生] タブをクリックします。
- ② 再生するメッセージを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:08	-	○
3	業務時間外	00:19	○	○
4	土日祝日	00:26	○	○
5	夏季休暇	00:26	○	○

→ 選択します。

・ 選択チャンネルが反転されます。

- ③ [再生] ボタンをクリックして、メッセージを再生します。



[再生] ボタン

[停止] ボタン

・ [再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

- ④ 再生を停止させる場合は、[停止] ボタンをクリックします。

■ 外部音源からの録音

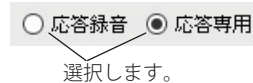
- ① [録音再生] タブをクリックします。
- ② 編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:08	-	○
3	業務時間外	00:19	○	○
4	土日祝日	00:26	○	○
5	夏季休暇	00:26	○	○
6	メッセージ6	00:00	-	-
7	メッセージ7	00:00	-	-

→ 選択します。

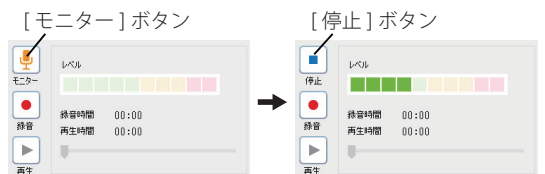
・ 選択チャンネルが反転されます。

- ③ メッセージ種別を選択します。



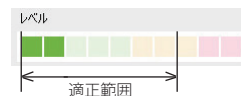
- ④ メッセージを録音します。

- 1) 録音デバイスから再生音を入力して、[モニター] ボタンをクリックします。



・ [モニター] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

- 2) 録音レベルが適正範囲となるように、音源のボリュームを調節します。



- 3) [停止] ボタンをクリックします。

・ [停止] ボタンが [モニター] ボタンに変わります。

- 4) 再度再生音を入力して、[録音] ボタンをクリックします。

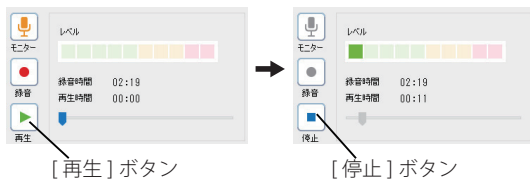


- ・[録音] ボタンが[停止] ボタンに変わり、録音が始まります。

- 5) 録音を終了する場合は、[停止] ボタンをクリックします。

- ・録音が終了します。

- 6) 録音されたメッセージを確認する場合は、[再生] ボタンをクリックします。



- ・[再生] ボタンが[停止] ボタンに変わります。

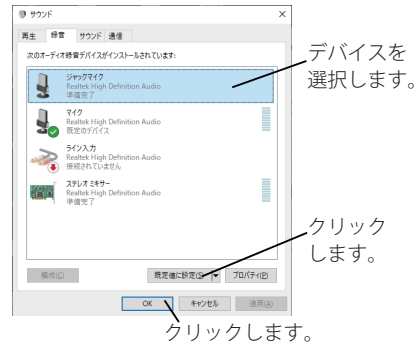
- ⑤ 再生を停止させる場合は、[停止] ボタンをクリックします。

- ⑥ [閉じる] ボタンをクリックします。

- ・【編集】画面が表示されます。

ワンポイント

- 録音デバイスを変更する場合は、[録音デバイス設定] ボタンをクリックして、デバイスが選択できます。また音源の音量も変更できます。詳細は「参考資料」(78 ページ) を参照してください。



デバイスを
選択します。

クリック
します。

クリックします。

- メッセージ名を編集する場合は、[メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

ch	メッセージ名	時間	音声 合成	広帯 帯用
1	メッセージ1	00:11	—	○
2	メッセージ2	00:09	—	○
3	業務時間外	00:19	○	—
4	土日祝日	00:25	○	○
5	夏季休暇	00:26	○	○
6	BGM	00:00	—	—
7	メッセージ7	00:00	—	—

[メッセージ名] 入力欄

- ・最大 10 文字まで入力できます。

音声ファイルの取込

パソコンや USB メモリなどから wave ファイルを読み込んでチャンネルに割り付けます。



- 1) [音声取込] タブをクリックします。
- 2) 編集対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声 合点	応答 専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:08	-	○
3	業務時間外	00:19	○	-
4	土日祝日	00:25	○	○
5	夏季休暇	00:28	○	○
6	BGM	02:19	-	○
7	メッセージ7	00:00	-	-
8	メッセージ8	00:00	-	-

・選択チャンネルが反転されます。

- 3) メッセージ種別を選択します。

応答録音 応答専用
 選択します。

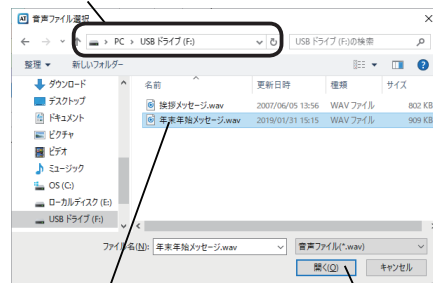
- 4) 取り込むファイルを選択します。

- 1) [参照] ボタンをクリックします。



・音声ファイル選択画面が表示されます。

- 2) ファイルの場所とファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。
ファイルの場所を指定します。



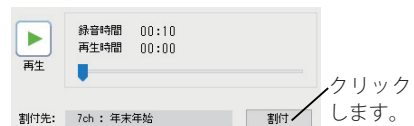
ファイルを選択します。 クリックします。

- 3) [再生] ボタンをクリックして音声を確認します。



- ・音声が再生されます。
- ・[再生] ボタンが [停止] ボタンに変わります。

- 4) [割付] ボタンをクリックします。



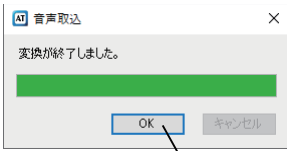
・ファイル形式の変換後に変換終了メッセージが表示されます。

ワンポイント

- 本ソフトで取込可能な音声ファイルのファイル形式は以下になります。

No.	規格名	仕様
1	リニア PCM	44.1kHz/16bit ステレオ、モノラル
2	μ-law	8kHz/8bit モノラル

5) [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

- 選択チャンネルにファイルが割り付きます。

⑤ [閉じる] ボタンをクリックします。

- 【編集】画面が表示されます。

ワンポイント

- 1秒未満の音声については、切り捨てて作成されます。

(例) 40秒 121ミリ秒の音声の場合、121ミリ秒を切り捨てて40秒になります。

- メッセージ名を編集する場合は、[メッセージ名] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:09	-	○
3	業務時間外	00:19	○	-
4	土日祝日	00:25	○	○
5	夏季休暇	00:28	○	○
6	BGM	02:19	-	○
7	年末年始	00:00	-	-
8	メッセージ8	00:00	-	-

[メッセージ名] 入力欄

- 最大 10 文字まで入力できます。

メッセージの削除

各チャンネルに割り付いているメッセージを削除します。

【音声】画面 (割付削除)



[閉じる] ボタン

① [割付削除] タブをクリックします。

② 削除対象のチャンネルを選択します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成	応答専用
1	メッセージ1	00:11	-	-
2	メッセージ2	00:09	-	○
3	業務時間外	00:19	○	-
4	土日祝日	00:25	○	○
5	夏季休暇	00:28	○	○
6	メッセージ6	00:00	-	-

選択します。

- 選択チャンネルが反転されます。

※ Ctrl キーを押しながら複数のメッセージが選択できます。

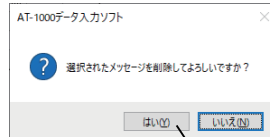
③ メッセージを削除します。

- 1) [再生] ボタンをクリックして、メッセージの内容を確認したあとで、[削除] ボタンをクリックします。



- 削除確認メッセージが表示されます。

2) [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

- メッセージの割付が削除されます。

④ [閉じる] ボタンをクリックします。

- 【編集】画面が表示されます。

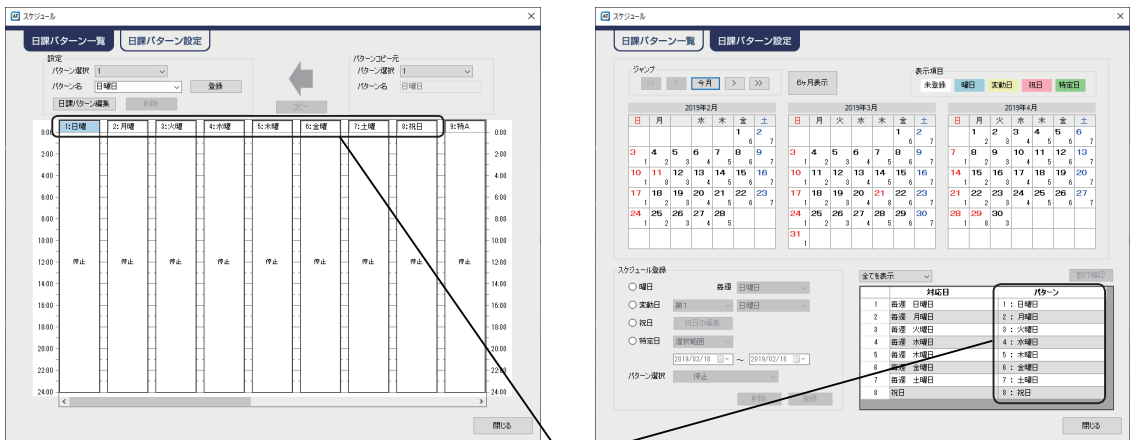
スケジュールを編集する

タイマー運用時に応答する日課パターンと、その日課パターンを日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。日課パターンは最大 20 パターン作成できます。



ワンポイント

- 本ソフトにはあらかじめ、日課パターンが 1 (日曜) から 8 (祝日) まで登録されています。また、この日課パターンは曜日スケジュールと祝日スケジュールに登録されています。これにより、日課パターンを編集するだけで年間スケジュールがご活用いただけます。



あらかじめ登録されています。

日課パターンや年間スケジュールの詳細な修正内容については、以下を参照してください。

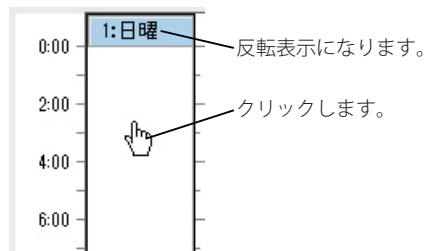
- ・日課パターンを作成する：61 ページ
- ・年間スケジュールを作成する：66 ページ

日課パターンを作成する

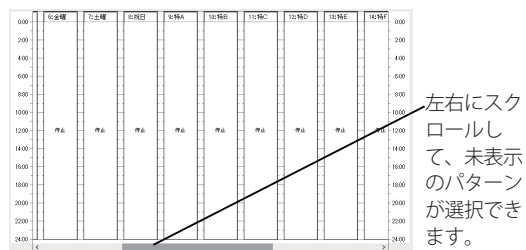


① [日課パターン一覧] タブをクリックします。
 ※【編集】画面から最初に開いたときは【スケジュール】画面(日課パターン一覧)になっています。

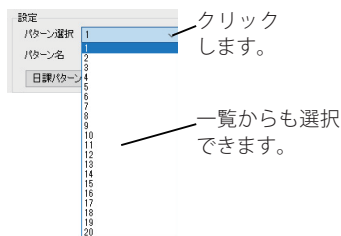
② 対象となるパターンをクリックして選択します。



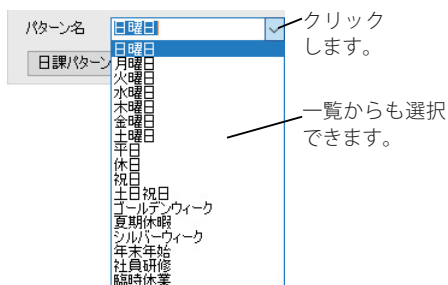
- ・パターン名が反転表示になります。
- ・日課パターンリストのスクロールバーをスクロールして、未表示のパターンが確認できます。



- ・パターン選択の[v]をクリックして表示されるパターン一覧からも選択できます。



③ キーボードからパターン名を入力します。
 ・最大 10 文字まで入力できます。
 ・パターン名の[v]をクリックして表示されるパターン名一覧からも選択できます。



④ [登録] ボタンをクリックします。
 ・パターン名が登録されます。
 ※[登録] ボタンをクリックするまで、編集中の内容は登録されません。

スケジュールを編集する

- ⑤ [日課パターン編集] ボタンをクリックします。
 - ・【日課パターン編集】画面が表示されます。
 - 63 ページを参照してください。
- ⑥ 別の日課パターンを設定する場合は、手順②～⑤を繰り返します。
- ⑦ [閉じる] ボタンをクリックします。
 - ・【編集】画面が表示されます。

作成済みの日課パターンは、手順③で [削除] ボタンをクリックすると削除されます。

※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

日課パターンをコピーする

すでに作成してある日課パターンをコピーして、類似の日課パターンを作成することができます。

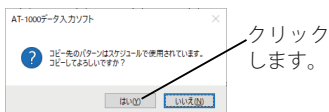
(例) パターン2 をパターン3 にコピーする

【方法1】

1. パターンコピー元と設定のパターン選択の [v] をクリックして表示される一覧から、コピー元 (パターン2) とコピー先 (パターン3) を選択して、[コピー] ボタンをクリックします。



2. 確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

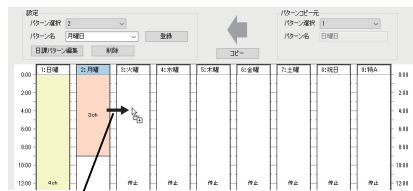


- ・コピー元の内容がコピー先に反映されます。

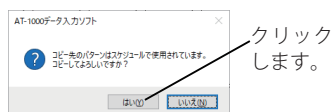


【方法2】

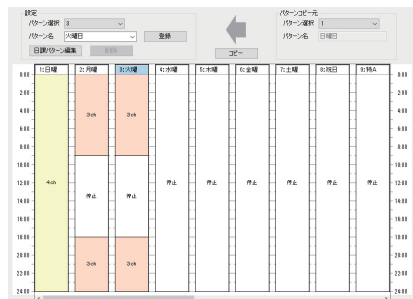
1. コピー元の日課パターンをコピー先の日課パターンにドラッグ&ドロップします。



2. 確認画面で [はい] ボタンをクリックします。



- ・コピー元の内容がコピー先に反映されます。



■ 動作ステップの作成

日課パターンごとの動作ステップを作成します。0:00 から 24:00 までで最大 25 ステップの設定ができます。
【スケジュール】画面の【日課パターン編集】ボタンをクリックすると、【日課パターン編集】画面が表示されます。

【日課パターン編集】画面



① 動作ステップの開始時刻、終了時刻、応答メッセージを設定します。

1) 開始時刻、終了時刻をクリックして、キーボードから時刻を設定します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	応答メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	0:00	9:00	
3			
4			

クリックして時刻を入力します。

・時間と分の間のコロン(:)は省略できます。

2) 応答メッセージ欄の[▼]をクリックして表示される一覧から、使用するチャンネルを選択します。

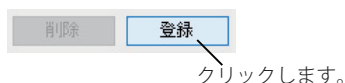
※ 応答メッセージを使用しない場合の動作ステップ(停止の動作ステップ)は設定不要です。

ステップ	開始時刻	終了時刻	応答メッセージ
1	0:00	24:00	停止
2	0:00	9:00	
3			停止
4			1ch:メッセージ1 2ch:メッセージ2
5			3ch:メッセージ3
6			4ch:土日祝日
7			5ch:夏休み
8			6ch:伝言
9			7ch:年末年始
10			8ch:メッセージ8 9ch:メッセージ9 10ch:メッセージ10

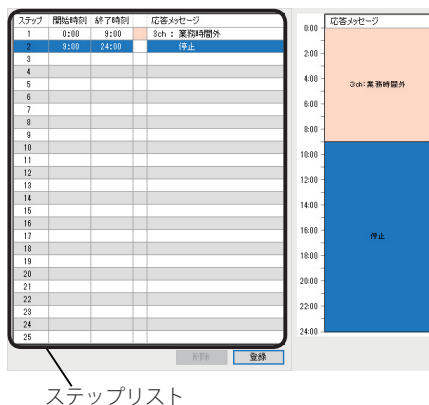
クリックします。

ステップに使用する応答メッセージを選択します。

② [登録] ボタンをクリックします。



・ステップリストに登録されます。



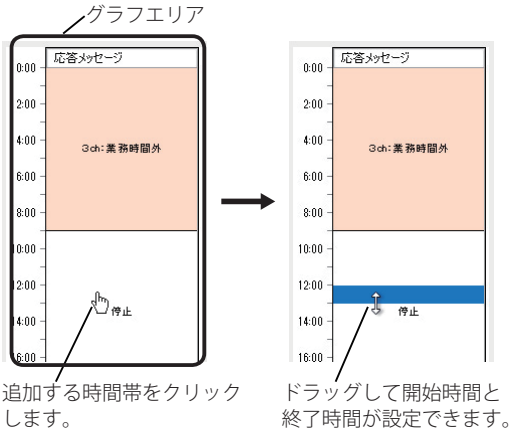
③ 別のステップを設定する場合は、手順①、②を繰り返します。

④ [閉じる] ボタンをクリックします。

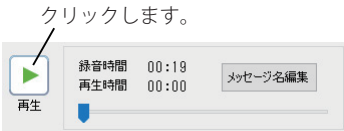
・【スケジュール】画面(日課パターン一覧)が表示されます。

ワンポイント

- 動作ステップの設定は、グラフエリアをドラッグして設定することもできます。



- ドラッグにより設定できる時間は 10 分単位です。10 分未満のステップは、ステップリストから設定してください。
- 開始ステップの開始時刻は 0:00 で、最終ステップの終了時刻は 24:00 となります。
- 選択したメッセージに音源が登録されている場合は、メッセージを再生して録音内容が確認できます。手順②でメッセージを登録したあとで、[再生] ボタンをクリックします。



動作ステップを削除する

動作ステップを削除する場合は、削除する動作ステップを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

ステップ	開始時刻	終了時刻	応答メッセージ
1	0:00	9:00	8ch: 業務時間外
2	9:00	18:00	停止
3	18:00	24:00	8ch: 業務時間外
4			

削除する動作ステップを選択します。



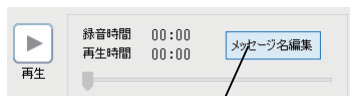
クリックします。

※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

メッセージ名を編集する

【日課パターン編集】画面からメッセージ名が編集できます。

1. [メッセージ名編集] ボタンをクリックします。

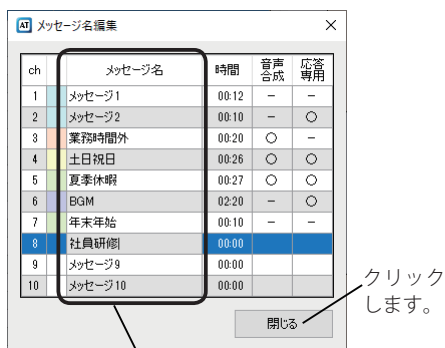


クリックします。

- ・【メッセージ名編集】画面が表示されます。

2. [メッセージ] 入力欄をクリックしてメッセージ名を入力した後に、[閉じる] ボタンをクリックします。

- ・最大 10 文字まで入力できます。



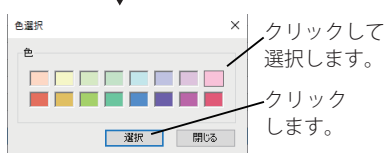
クリック
します。

[メッセージ名] 入力欄

ワンポイント

- 【メッセージ名編集】画面において、メッセージ色の変更ができます。画面の[メッセージ色] 配置欄をダブルクリックして、表示される色選択画面から指定してください。

[メッセージ色] 配置欄



年間スケジュールを作成する

タイマー運用において、日付などを指定して自動的に切り替えて運用するための年間スケジュールを作成します。スケジュールには、「曜日」、「変動日」、「祝日」、「特定日」の4種類があり、各スケジュールが同じ日に重なった場合の優先順位は「特定日（範囲選択）」が最も高く、以下「特定日（毎年）」、「特定日（毎月）」、「祝日」、「変動日」、「曜日」の順です。

また、登録した年間タイマーの有効期間は、登録した月から最大10年です。

（例1）2019/6/20に登録した場合 ⇒ 有効期限：2029/5/31（有効期間：9年と346日）

（例2）2020/1/1に登録した場合 ⇒ 有効期限：2029/12/31（有効期間：10年）

そのため、**有効期間内に本体装置に年間タイマーを再登録してください。**



① [日課パターン設定] タブをクリックします。

② 日課パターンを登録する日付を、カレンダーで指定します。

対象月に移動します。

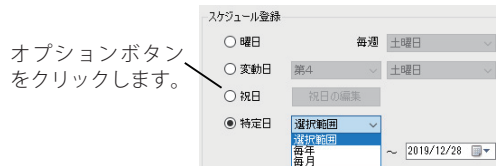


日付を選択します。

・設定されているパターン番号が黒枠で表示されます。

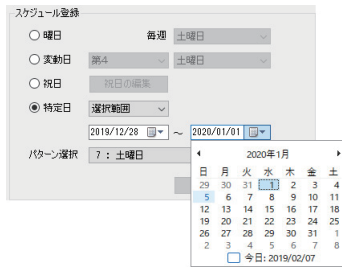
③ 登録するスケジュールのオプションボタンをクリックして選択します。

- ・特定日の場合は、「選択範囲」「毎年」「毎月」から選択できます。
- ・特定日の「選択範囲」は連続して最大1か月の期間で設定できます。

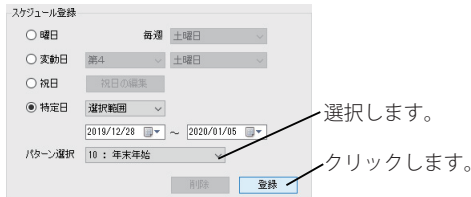


オプションボタンをクリックします。

- ・特定日の「選択範囲」はカレンダーから設定できます。

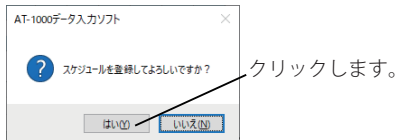


- ④ 適用するパターンを [v] をクリックして選択して、[登録] ボタンをクリックします。



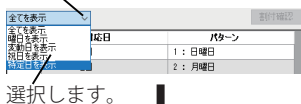
- ・確認画面が表示されます。

- ⑤ [はい] ボタンをクリックします。



- ⑥ 登録した対応日とパターンを確認します。

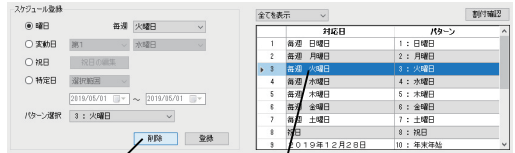
- ・表示される内容を絞り込むことができます。



- ⑦ 別の日課パターンを登録する場合は、手順②～⑥を繰り返し実施します。

日課パターンを削除する

登録されている日課パターンを削除する場合は、削除する日課パターンを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

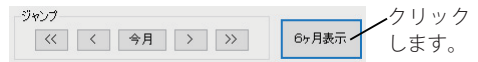


削除する日課パターンを選択します。

- ※ 削除確認画面で [はい] ボタンをクリックします。

ワンポイント

- [6ヶ月表示] ボタンをクリックすると、6ヶ月間のカレンダーが表示されます。[閉じる] ボタンをクリックすると画面が消えます。



- スケジュールが登録されているカレンダーの日やパターンをダブルクリックすると【日課パターン編集】画面が表示されます。



ダブルクリックすると、【日課パターン編集】画面が表示されます。

スケジュールを編集する

■ 祝日の編集

祝日が増えたり、日付が変更になったときなどに祝日を編集します。

- ① [祝日] オプションをクリックして、[祝日の編集] ボタンをクリックします。

クリックします。 クリックします。

[削除] ボタン [登録] ボタン

- ・【祝日の編集】画面が表示されます。

- ② 対象とする祝日を選択します。

- ・追加する場合は、空白の行をクリックします。
- ・編集する場合は、対象の祝日をクリックします。

- ③ 修正内容を編集して、[登録] ボタンをクリックします。

- ・祝日名は最大 10 文字まで入力できます。
- ・【祝日の編集】画面が更新されます。
- ・祝日を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックして表示される削除確認画面で、[はい] ボタンをクリックします。

- ④ [閉じる] ボタンをクリックします。

対象の祝日を選択します。

編集します。

クリック
します。

[工場出荷時に戻す]
ボタン

[初期値として登録]
ボタン

[初期値に戻す]
ボタン クリックします。

ワンポイント

- 編集した内容を初期値として登録する場合は、[初期値として登録] ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す] ボタンをクリックしてください。
- 特定の祝日（春分の日、秋分の日、国民の休日）は、削除すると再登録できません。誤って削除してしまった場合や、編集した内容を破棄する場合は、[工場出荷時に戻す] ボタンをクリックしてください。工場出荷時の内容に戻ります。
- 振替休日を祝日スケジュールで運用しない場合は、「振替休日を祝日スケジュールにする」のチェックを外してください。

クリックしてチェックを外します。

割り付けたスケジュールを確認する

登録されている日課パターンを確認する場合は、確認する日課パターンを選択して、[割付確認] ボタンをクリックします。

クリックします。

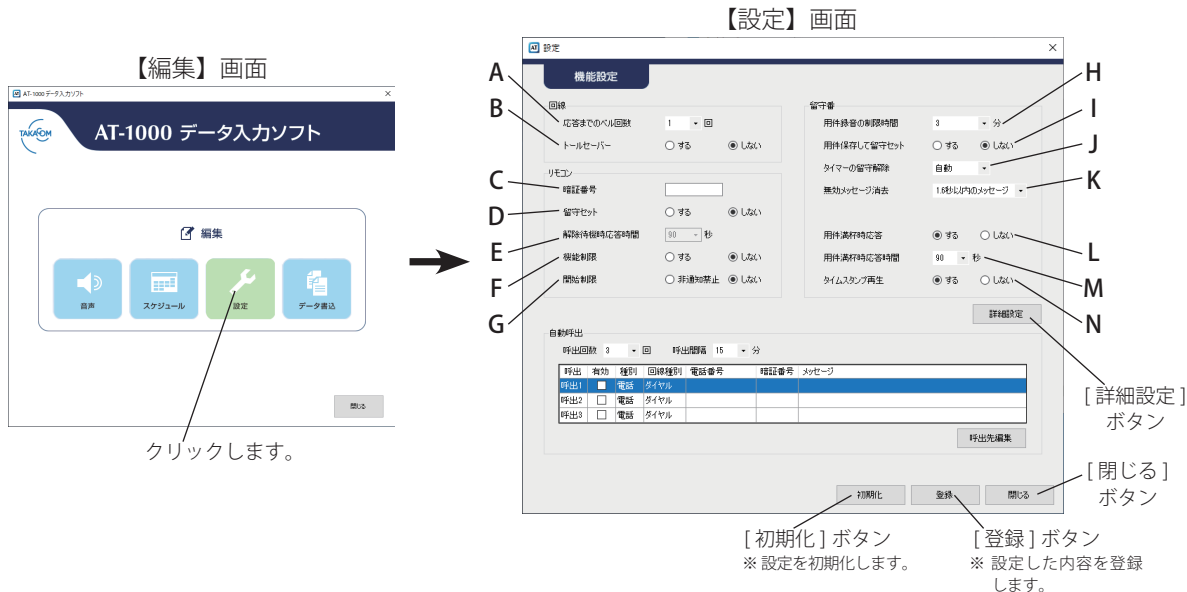
確認する日課パターンを選択します。

スクロールして確認できます。

日付	曜日	パターン	備考
2019/3/5	火	3: 火曜日	
2019/3/12	火	3: 火曜日	
2019/3/19	火	3: 火曜日	
2019/3/26	火	3: 火曜日	
2019/4/2	火	3: 火曜日	
2019/4/9	火	3: 火曜日	
2019/4/16	火	3: 火曜日	
2019/4/23	火	3: 火曜日	
2019/4/30	火	3: 火曜日	
2019/5/7	火	3: 火曜日	
2019/5/14	火	3: 火曜日	
2019/5/21	火	3: 火曜日	
2019/5/28	火	3: 火曜日	
2019/6/4	火	3: 火曜日	
2019/6/11	火	3: 火曜日	
2019/6/18	火	3: 火曜日	
2019/6/25	火	3: 火曜日	
2019/7/2	火	3: 火曜日	
2019/7/9	火	3: 火曜日	
2019/7/16	火	3: 火曜日	

機能設定を登録する

留守応答するまでの呼出音の回数やトールセーバー機能などの設定、リモコンの操作設定や自動で呼び出す呼出先の設定が、用途に応じて変更（登録）できます。



■ 回線設定

本装置に着信があったときに、留守応答するまでの呼出音の回数を変更したり、外出先からリモコン操作をするときのトールセーバー機能の使用設定が変更できます。

A：応答までのベル回数

留守応答するまでの呼出音の回数を設定します。

- ・初期値：1回、設定範囲：0～9回

ワンポイント

- ベル着信時に極性反転しない電話回線の場合、0回で設定しても1回以上で応答します。
- ご使用の電話回線がナンバー・ディスプレイに加入している場合は、0回で設定しても1回で応答します。
(1～9回の場合は、設定した回数で応答します)

B：トールセーバー

トールセーバー機能を使用する・しないを設定します。

- ・初期値：しない

トールセーバー機能について

外出先からリモコン操作するとき、呼出音の回数で新しい用件録音の「有無」が確認できる機能です。

- トールセーバー機能を使用する場合、お買い上げ時の設定では用件が録音されていると呼出音1回で電話につながります。
録音されていないときは3回でつながります。
※「A：応答までのベル回数」を変更した場合は
 - ・用件録音「有」：設定回数で応答
 - ・用件録音「無」：設定回数+2回で応答となります。
- キャッチホンサービスをご利用のときは、トールセーバー機能をご使用になれないことがあります。

■ リモコン設定

外出先から本装置に電話をかけて、用件メッセージを再生したり、留守セットを解除するなど、リモコンで操作をするときの各種の設定変更ができます。

C：暗証番号

- リモコン操作をする際の暗証番号を設定します。
- ・初期値：なし、設定範囲：半角数字、4～8文字

D：留守セット

- 留守セットを忘れて外出したときなど、外出先からリモコンで留守セットする・しないを設定します。
- ・初期値：しない

E：解除待機時応答時間

- リモコンから留守セットする場合、固定の応答専用メッセージ（※）が送出されるまでの時間を設定します。
- ・設定範囲：45 / 90 秒
- ※ メッセージの詳細は 4 ページを参照してください。

F：機能制限

- リモコンでの用件再生とメモ録音以外の操作制限のする・しないを設定します。
- ・初期値：しない

G：開始制限

- リモコン機能が使用できる電話番号を制限します。
- ・初期値：しない、設定範囲：非通知禁止、しない
- ※ 「非通知禁止」の場合、詳細設定項目「**その他**—ナンバーディスプレイ」を「対応」としてください。詳細は 72 ページを参照してください。（「非対応」の場合、本体装置の暗証番号マークが点滅して、リモコンが使用できません）

■ 留守番設定

本装置を、相手の用件を録音する「応答録音」として使用するときの、各種の設定変更ができます。

H：用件録音の制限時間

- 留守番電話に保存できる用件メッセージの最大録音時間を設定します。
- ・初期値：3分、設定範囲：0（無制限） / 1～9分

I：用件保存して留守セット

- 留守セットするとき、再生済みの用件メッセージを保存する・しないを設定します。
- ・初期値：しない
- ※ 未再生の用件メッセージは消去しません。

J：タイマーの留守解除

- タイマーによる留守解除の動作を設定します。「手動」の場合、解除時刻になると警告音の後にアナウンスを送出します。（留守解除はしません）「自動」の場合、解除時刻になると留守解除します。
- ・初期値：自動、設定範囲：自動 / 手動

K：無効メッセージ消去

- 1.6 秒以内で録音された用件メッセージを無効メッセージとして消去する・しないを設定します。
- ・初期値：1.6 秒以内のメッセージ
- ・設定範囲：しない、1.6 秒以内のメッセージ

L：用件満杯時応答

- 用件メッセージの保存時間が 120 分または、保存件数が 300 件を超えた場合、応答する・しないを設定します。
- ・初期値：する

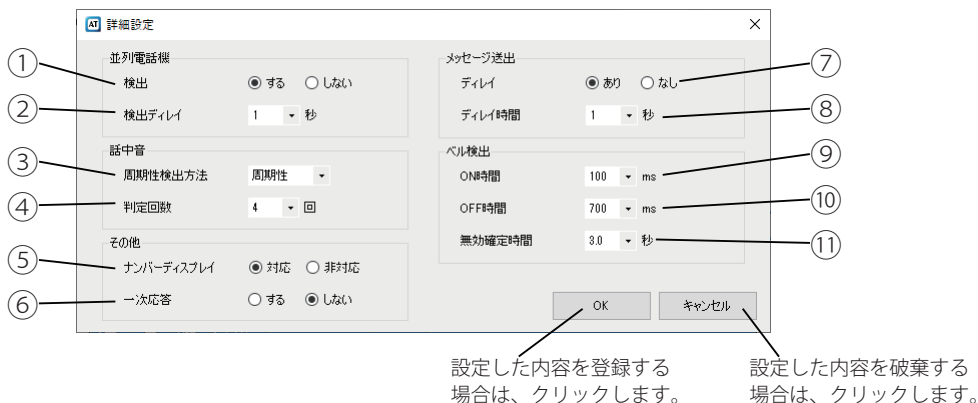
M：用件満杯時応答時間

- 「L：用件満杯時応答」が「する」の場合、固定の応答専用メッセージ（※）が送出されるまでの時間を設定します。
- ・初期値：90 秒、設定範囲：45 / 90 秒
- ※ メッセージの詳細は 4 ページを参照してください。

N：タイムスタンプ再生

- 録音された用件メッセージを再生する前に、用件メッセージが録音された月日時分の再生をする・しないを設定します。
- ・初期値：する

■ 詳細設定



No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
①	並列電話機	検出	本体装置が応答しているときに、並列電話機が OFF フックすると、本体装置の応答をやめるかどうかを設定します。本体装置の応答をやめる場合は「する」に設定します。	・する ・しない	する
②		検出ディレイ ※ 1	並列電話機の検出を開始するまでの遅延時間を設定します。	・1 秒 ・2 秒 ・3 秒	1 秒
③	話中音	周期性検出方法	話中音の周期性の検出方法を設定します。	・1 秒周期 ・周期性	周期性
④		判定回数	話中と判断する話中音の回数を設定します。	・4 回 ・8 回	4 回
⑤	その他	ナンバーディスプレイ	ご使用の電話回線がナンバー・ディスプレイに加入している(対応している)かどうかを設定します。	・対応 ・非対応	対応
⑥		一次応答 ※ 2	一次応答をするかどうかを設定します。 ※ 3	・する ・しない	しない
⑦	メッセージ送出	ディレイ	本体装置が応答してから送出するメッセージを遅延させるかどうかを設定します。	・あり ・なし	あり
⑧		ディレイ時間 ※ 4	本体装置が応答してからメッセージを送出するまでの時間を設定します。	・1 秒 ・2 秒 ・3 秒	1 秒
⑨	ベル検出	ベル ON 時間	着信時のベル信号を判定するベルの ON 時間を設定します。	・100ms ・300ms ・500ms ・700ms	100ms
⑩		ベル OFF 時間	着信時のベル信号を判定するベルの OFF 時間を設定します。	・100ms ・300ms ・500ms ・700ms	700ms
⑪		無効確定時間	ベルが終了したと判断する時間を設定します。	・2.5 秒 ・3.0 秒 ・3.5 秒 ・4.0 秒	3.0 秒

※ 1：並列電話機の「検出」が「する」の場合に有効になります。
 ※ 2：その他の「ナンバーディスプレイ」が「対応」の場合に有効になります。
 ※ 3：アナログ電話機を接続しない運用の場合は、「する」で運用してください。
 ※ 4：メッセージ送出の「ディレイ」が「あり」の場合に有効になります。

■ 自動呼出設定

用件が録音されると携帯電話などの電話機を呼び出したり、SMS へメッセージを送信することができます。呼出先の携帯電話や電話機は 3 カ所まで登録でき、登録した 3 カ所のうち任意の呼出先を選択して呼び出したり、3 カ所を順に呼び出したりできます。



呼出の対象となる呼出先にチェックを付けます。

A：呼出回数

呼出先が携帯電話などの電話機の場合、応答がない場合の再呼出の回数を設定します。

・初期値：3回、設定範囲：1～9回

B：呼出間隔

呼出一覧に登録された呼出先のうち、呼出対象の呼出先に通知する間隔を設定します。

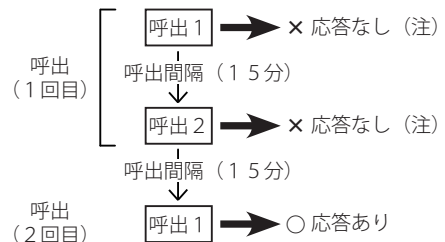
・初期値：15分、設定範囲：5 / 10 / 15分

👉 ワンポイント

- 1回の呼出時間は最大 60 秒です。(60 秒呼び出して応答しない場合は、応答なしと判定します)
- 呼出先が電話機の場合、通知先が応答するまで、呼出間隔ごとに呼出回数だけ、電話機を呼び出します。
- 呼出先が SMS のみの場合、呼出先から本装置にリモコン操作があるまで、呼出間隔ごとに呼出回数だけショートメッセージを送信します。

呼出動作について

例) 呼出先：呼出 1 と呼出 2 の 2 所 (共に電話機)
呼出回数：3 回 呼出間隔：15 分

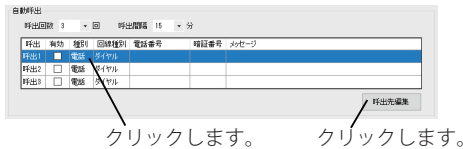


(注) 応答があった場合でも、リモコン操作しない場合は、「応答なし」とみなします。

呼出 1 が 2 回目で応答したため、呼出 2 は呼出なしで動作終了

● 呼出先が電話機の場合

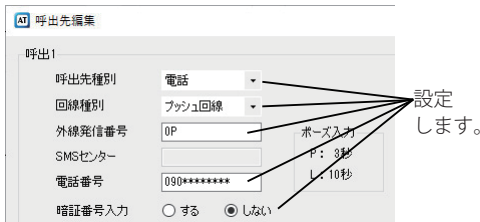
1. 編集する呼出先を選択して[呼出先編集]ボタンをクリックします。



クリックします。 クリックします。

- ・【呼出先編集】画面が表示されます。

2. 呼出先種別を“電話”で設定し、各種項目を入力します。



- ・回線種別を“ダイヤル回線／プッシュ回線”から選択します。
- ・外線発信番号が必要な場合は、番号を入力します。
(入力文字：半角数字、最大 10 桁)
(注) 番号の最後に 3 秒ポーズ (P) を入力してください。
- ・呼出先の電話番号を入力します。
(入力文字：半角数字、最大 20 桁)
- ・暗証番号の入力の有無を、“する／しない”のオプションボタンから選択します。

3. [OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

👉 ワンポイント

- 外線発信番号や SMS センター番号などの番号には、P (3 秒ポーズ) や L (10 秒ポーズ) が使用できます。

- 自動呼出により呼び出されて用件を聞く場合は、暗証番号の入力設定により、以下となります。

【暗証番号入力：しない】

自動で用件が聞こえます。ただし本装置を構内交換機の内線に接続したときは、自動で用件が聞こえずに「ピッピッピ」という音が聞こえる場合があります。このときは、「0」を入力すると、用件が聞けます。

【暗証番号入力：する】

暗証番号を入力すると、用件が聞けます。

● 呼出先が SMS の場合

1. 編集する呼出先を選択して[呼出先編集]ボタンをクリックします。



クリックします。 クリックします。

- ・【呼出先編集】画面が表示されます。

2. 呼出先種別を“SMS”で設定し、各種項目を入力します。



- ・回線種別を“ダイヤル回線／プッシュ回線”から選択します。
- ・外線発信番号が必要な場合は、番号を入力します。
(入力文字：半角数字、最大 10 桁)
(注) 番号の最後に 3 秒ポーズ (P) を入力してください。
- ・SMS センター番号 (0903101655) を入力します。
(入力文字：半角数字、最大 20 桁)
(注) 番号の最後に 12 秒以上のポーズ (例：PL) を入力してください。
- ・呼出先の電話番号を入力します。
(入力文字：半角数字、最大 20 桁)
(注) 番号の最後に 8 秒以上のポーズ (例：L) を入力してください。
- ・SMS に送信するメッセージを入力します。ディスプレイに表示させるメッセージについての詳細は、NTT ドコモのショートメッセージサービス (SMS) 案内資料をご覧ください。
(注) メッセージに、訂正記号「」や確認記号「*#」は登録できません。**
- ・本装置にかけてきた相手の電話番号をメッセージの前に付加するかどうかを、“する／しない”のオプションボタンから選択します。

3. [OK] ボタンをクリックします。

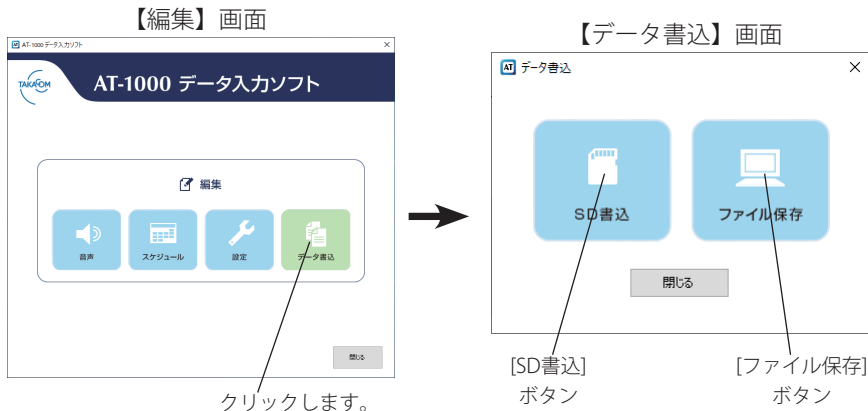


クリックします。

メモ

データを書き込む

作成した応答メッセージや年間タイマーなどのスケジュールおよび、本体装置の設定情報などを SD カードや制御用パソコンのハードディスクに保存します。



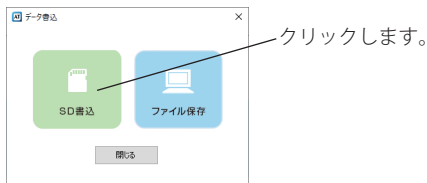
SDカードに書き込む

制御用パソコンに市販の SD カードリーダーを接続して、SD カードを挿入してください。

※ SDHC カードを使用する場合は、SDHC 対応のカードリーダーをご使用ください。

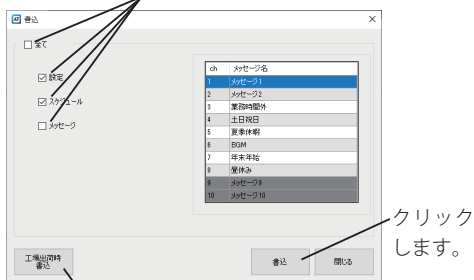
※ SD カードに暗号化して書き込み等をするセキュリティ機能を保有しているパソコンの場合、セキュリティ機能を解除してください。

① 【データ書込】画面の [SD 書込] ボタンをクリックします。



・【書込】画面が表示されます。

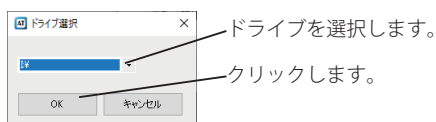
② 保存するデータのチェックボックスにチェックを付けて [書込] ボタンをクリックします。
チェックを付けます。



[工場出荷時書込] ボタン

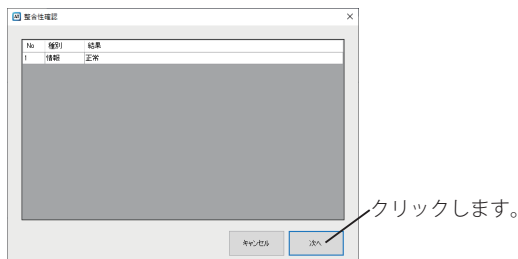
・【ドライブ選択】画面が表示されます。

③ SD カードをセットしたドライブを選択して [OK] ボタンをクリックします。



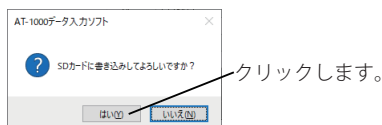
・【整合性確認】画面が表示されます。

④ 表示される内容を確認して [次へ] ボタンをクリックします。



・書込確認メッセージが表示されます。

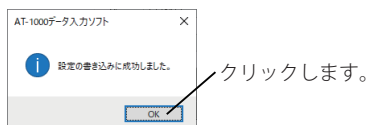
⑤ [はい] ボタンをクリックします。



・SD カードにデータの書き込みが開始されます。

・データの書き込み完了後にメッセージが表示されます。

⑥ [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 【書込】画面で「スケジュール」にチェックを付けるときは、「メッセージ」にもチェックをつけてください。

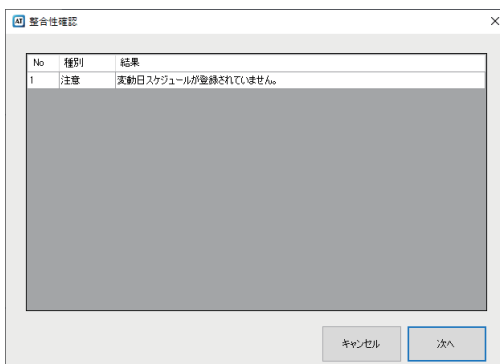


「スケジュール」にチェックを付けた場合は、「メッセージ」にもチェックを付けてください。

- 【書込】画面で「メッセージ」にチェックをつけた場合は、割り付けされていないチャンネルのメッセージは削除されます。
- 【工場出荷時書込】ボタンをクリックすると、応答メッセージやスケジュールなどすべてのデータを初期化します。(応答メッセージやスケジュールだけを初期化することはできません)

整合性確認について

作成したデータの整合性をチェックして判定結果が一覧として表示されます。

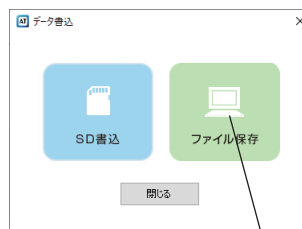


- 注意：運用上に問題がないか確認してください。問題がない場合は、「次へ」ボタンをクリックすると、処理を続けます。

パソコンに保存する

編集中の各種データを、USB メモリや制御用パソコン、事前に割り当てたネットワークドライブなどに保存します。

- ①【データ書込】画面の [ファイル保存] ボタンをクリックします。

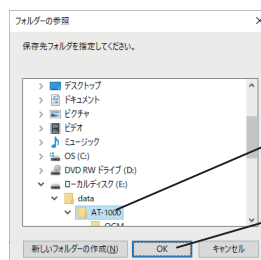


クリックします。

- ・【フォルダーの参照】画面が表示されます。

- ② 保存するフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

(例：E: ¥ data ¥ AT-1000)

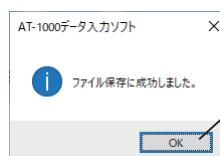


- ・ 保存完了画面が表示されます。

STOP お願い

- データの保存場所に、「C ドライブ」直下やシステムフォルダ（「ProgramFiles」など）を指定しないでください。

- ③ [OK] ボタンをクリックします。



次回からは、[ファイル保存] ボタンをクリックすると、このフォルダ（例：¥ data ¥ AT-1000）が表示されます。

参考資料

パソコンのマイク入力端子にマイクなどを接続して音源からの音声を録音する際に、Windows のサウンド機能を使用することで、入力する音源の音量が変更できます。

(Windows 10 の操作例)

- ① 【音声】 画面（録音再生）（56 ページ）における [録音デバイス設定] ボタンをクリックします。

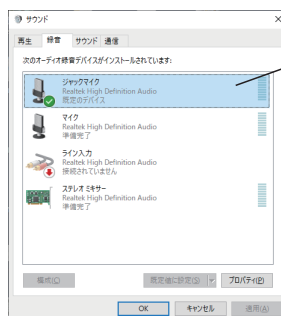
- Windows のサウンド画面が表示されます。



- ② 録音対象のデバイスを選択してダブルクリックします。

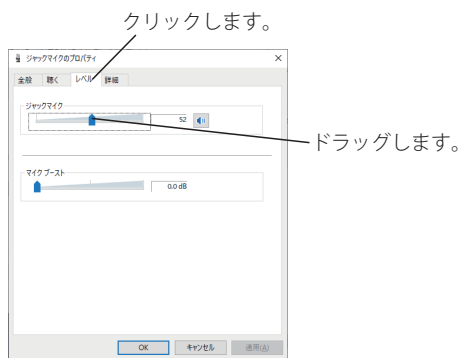
- ※ **必ずデバイスを接続してください。**

- デバイスのプロパティ画面が表示されます。



- ③ [レベル] タブをクリックして表示される画面において、スライダーをドラッグして音量を調整します。

- ④ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。



メモ

■ リモコン操作メモカード

切り取ってご使用ください。

<p>《外出先から留守セット》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本機に電話をかける ・呼出音約 45 秒又は 90 秒呼び続ける 2 応答メッセージが聞こえたら、暗証番号を押す 3 「ピー」のあと、 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>再生済み用件消去で留守セット</td> <td>→</td> <td>5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>すべての用件を消去して留守セット</td> <td>→</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>《満杯に録音されているとき》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本機に電話をかける ・呼出音約 45 秒又は 90 秒呼び続ける 2 本機が応答したら、《リモコン操作方法》と同じ操作で、リモコン再生をする 	再生済み用件消去で留守セット	→	5	#	すべての用件を消去して留守セット	→	5	0	<p>《リモコン操作方法》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本機に電話をかける 2 応答メッセージが聞こえたら、暗証番号を押す ・「ピー」のあと、件数に続いて、用件が聞こえます。 3 用件を再生中 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>リピート再生</td> <td>→</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>バック再生</td> <td>→</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>頭出し再生</td> <td>→</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>スキップ再生</td> <td>→</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>約 2 秒間早戻し</td> <td>→</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>電話番号アナウンス</td> <td>→</td> <td>#</td> </tr> </table> 4 操作が終わるときは、電話を切る。続けて、操作をするときは、裏面の《その他のリモコン操作方法》を行ってください。 	リピート再生	→	0	バック再生	→	1	頭出し再生	→	2	スキップ再生	→	3	約 2 秒間早戻し	→	*	電話番号アナウンス	→	#
再生済み用件消去で留守セット	→	5	#																								
すべての用件を消去して留守セット	→	5	0																								
リピート再生	→	0																									
バック再生	→	1																									
頭出し再生	→	2																									
スキップ再生	→	3																									
約 2 秒間早戻し	→	*																									
電話番号アナウンス	→	#																									

メモ

《以下は、再生終了音「ピピ・・・」のあと 10 秒以内に行ってください。》

用件再生へ戻す

- 最後の用件を再生 → 1
- 頭だし再生 → 2

応答メッセージ

- 現在応答の 開始 → 4 #
- 吹き替え/セット 終了 → 4
- 応答①の吹き替え 開始 → 4 1
- /セット 終了 → 4
- 応答⑤の吹き替え 開始 → 4 5
- /セット 終了 → 4
- 応答⑩の吹き替え 開始 → 4 0
- /セット 終了 → 4
- 応答①の再生/セット → 6 1
- 応答⑤の再生/セット → 6 5
- 応答⑩の再生/セット → 6 0
- 現在応答の再生 → 6 #

留守セット/解除

- 再生済み用件消去で留守セット → 5 #
- すべての用件を消去して留守セット → 5 0
- 留守解除 → 5 *

タイマーセット/解除

- タイマーセット → 9 #
- タイマー解除 → 9 *

メモ録音

- メモ録音 → 7

自動呼出

- 呼出①をセット → 8 1
- 呼出②をセット → 8 2
- 呼出③をセット → 8 3
- 呼出を解除 → 8 *
- 呼出番号の音声確認 → 8 #

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

■ 本体装置

動作	こんなときは	お確かめください	参照ページ
電源	ディスプレイの表示が消えている	電源アダプタが電源コンセントに差し込んでありますか？	38ページ
ディスプレイ	SDカードを挿入すると、 【no dAtA】と表示される	SDカードにデータを書き込んでいますか？ 入力ソフトにより作成した各種のデータもしくは、工場出荷時のデータをSDカードに書き込んでください。 SDカードは暗号化されていませんか？ 制御用パソコンのセキュリティ機能を解除してSDカードにデータを書き込んでください。	6ページ 42ページ 76ページ
	SDカードを挿入すると、 【CRd Err】と表示される	SDカードのデータが壊れています。 制御用パソコンでSDカードをフォーマットして、入力ソフトにより作成した各種のデータもしくは、工場出荷時のデータをSDカードに書き込んでください。	5ページ
	着信履歴を確認すると、 【no rEcord】と表示される	SDカードの着信履歴情報が破損している恐れがあります。 着信履歴情報を全消去してください。	16ページ
留守セット	留守セットができない	【no rE】表示になっていませんか？ 応答メッセージが録音されていませんか。 応答メッセージを録音してください。	18ページ
	応答メッセージが変更できない	ディスプレイが【FULL】表示になっていませんか？ 用件を再生後、消去してください。	24ページ 26ページ
		タイマー機能をお使いではないですか？ タイマー機能を解除した上で、応答メッセージを変更して留守セットしてください。	34ページ 22ページ
タイマー	タイマーセットできない	スケジュールが登録されていますか？ 制御用パソコンで入力ソフトを使用して、スケジュールを編集してください。	60ページ
		応答メッセージは録音されていますか？ タイマーで使用する応答メッセージを録音してください。	18ページ
応答動作	電話がかかってきても応答しない (かかってきた電話が切断される)	ビジネスホンの単独電話や構内交換機の内線側に接続していますか？ 本体装置の詳細設定項目「その他-ナンバーディスプレイ」を「非対応」、「ベル検出-ベル OFF 時間」を「100ms」に変更してください。	39ページ 72ページ
	設定したベル回数で応答しない	トールセーバー機能を使用する設定になっていませんか？ トールセーバー機能を使用する場合は、用件録音が無い状態では、「設定回数+2回」で応答メッセージに切り替わります。	70ページ
用件	用件録音中に、電話が切れる	相手の声が8秒以上途切れていませんか？	23ページ
	再生音がでない	音量調節が最小になっていませんか？	24ページ
リモコン操作	リモコン操作ができない	リモコン暗証番号は合っていますか？ プッシュ信号の出ない電話機からリモコン操作をしていませんか？	28ページ
自動呼出	セットできない	呼出先が登録されていますか？	73ページ 36ページ
番号表示	相手先の電話番号が表示されない	ナンバー・ディスプレイに加入していますか？ ナンバー・ディスプレイに加入していないと、表示しません。	4ページ
		ナンバー・ディスプレイ対応の端末を接続していますか？ ナンバー・ディスプレイに対応した端末を接続していないと、表示しません。	16ページ

■ AT-1000 データ入カソフト

カテゴリ	こんなときは	お確かめください	参照ページ
SD 読込	SD カードが読み込めない	カードリーダーに SD カードがセットされていますか？ 制御用パソコンにカードリーダーは接続されていますか？ カードリーダーは SD カードに対応していますか？	5ページ
		カードリーダーが接続されているドライブを選択していますか？	48ページ
ファイル読込	作成したファイルが読み込めない	参照先フォルダは正しいですか？ 「C ドライブ」直下やシステムフォルダ（「ProgramFiles」など）を指定していませんか？	49ページ 77ページ
		OGM フォルダを選択していませんか？ OGM フォルダの 1 つ上のフォルダを選択してください。	49ページ
メッセージ	音声合成で作成したメッセージが 意図したイメージで再生されない	音声合成詳細設定や辞書登録を実施する前に、音声合成によるメッセージを作成していませんか？	54ページ
		音声合成詳細設定や辞書登録を実施した後で、音声合成によるメッセージを作成してください。	55ページ
スケジュール	意図した応答メッセージが送出されない	日課パターンは設定されていますか？ 日課パターンはスケジュールに登録されていますか？ 変動日や特定日の設定は正しく設定されていますか？	60ページ
設定	SMS のメッセージが入力できない	アルファベットなどを入力していませんか？ ショートメッセージサービス (SMS) ガイド (NTT ドコモ案内資料) を参照してください。	74ページ
	メッセージが呼出先に送信されない	外線発信番号や SMS センターの番号、呼出先番号の後に、ポーズ (“P” または “L”) が設定されていますか？	74ページ
データ書込	SD カードに書き込めない	カードリーダーに SD カードがセットされていますか？ 制御用パソコンにカードリーダーは接続されていますか？ カードリーダーは SD カードに対応していますか？ SD カードのライトプロテクトがロックされていませんか？	5ページ
		カードリーダーが接続されているドライブを選択していますか？	76ページ

主な仕様

項目		仕様	備考
電話回線 (注1)	収容回線数	1回線	
	回線種別	アナログ一般回線	
	直流抵抗値	約 273 Ω	
	接続端子	モジュージャック	RJ-11
応答メッセージ	作成方法	音声合成、マイクなどからの録音、音声取込	
	録音方式	μ-law 8kHz 8bit モノラル	
	録音時間	最大 10 メッセージ、各 5 分	
用件メッセージ	録音時間	最大 120 分 (最大 300 件)	
外部出力	イヤホン端子	3.5mm モノラルミニジャック インピーダンス 32Ω	
データ登録	パソコン	AT-1000 データ入力ソフト (添付品)	(注2) (注3)
	記憶媒体	SD カード	(注4) (注5)
プログラム タイマー	1 日パターン	最大 20 種類	
	登録ステップ数	最大 25 ステップ	パターン毎
	曜日スケジュール	日～土の曜日指定 / 月～金の期間指定 / 月～土の期間指定	
	変動日スケジュール	第 1～第 5 の曜日指定	
	祝日スケジュール	国民の祝日、国民の休日、振替休日、予備日 8 日	春分の日、秋分の日自動計算 ハッピーマンデー対応
	特定日スケジュール	範囲指定、毎年、毎月	範囲指定：最大 1 か月間
	有効期間	登録した月より 10 年	
時計精度		月差 ± 60 秒	25℃、通電時
環境条件	動作時	温度条件：5～40℃ 湿度条件：20～85%	結露のないこと
	保管時	温度条件：-10℃～50℃ 湿度条件：20～85%	結露のないこと
VCCI		クラス A	
RoHS 指令		適合	
電源	電源	AC100V ± 10V、50/60Hz	専用電源アダプタ
	消費電力	最大 2.5W	
	停電バックアップ	年月日・時刻は約 7 年	
外観	外形寸法	130mm (幅) × 184mm (奥行) × 43mm (高さ)	ゴム足含まず
	質量	約 390g	本体

注1) 本装置はアナログ回線 (アナログ一般公衆回線) に対応しています。ひかり回線をご使用の場合は、アナログ回線に変換してお使いください。

注2) 対応 OS : Windows 10/8.1

注3) Windows RT 8.1 および Windows 10 (S モード) は対象外となります。

注4) 対応カード : SD/mini SD/micro SD/SDHC/mini SDHC/micro SDHC

注5) SDHC UHS-III には対応していません。

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発着信・通話録音などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保 証 書		保証条件	
型名	リモートホン AT-1000	<ol style="list-style-type: none">保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理で依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送料費用などはお客さまのご負担となります。保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。<ol style="list-style-type: none">保証書の提示がない場合保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合誤ったご使用方法で故障または損傷した場合輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電話線・電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合消耗品を交換した場合この保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.この保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。	
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		様
	電話番号		() -
	ご住所		〒
販売店名／住所／電話番号			

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター  0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00～17：30（土・日曜日、祝日、当社指定休日除く）

修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ <https://www.takacom.co.jp>
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム

検索

株式会社 **タカコム**

本社・工場／〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709